

令和6年度

事業概要

福岡県糸島保健福祉事務所

目 次

I 管内の概況

- 1 地域の特徴 . . . 1
- 2 人口・世帯数・面積 . . . 1

II 糸島保健福祉事務所の概要

- 1 沿革 . . . 2
- 2 組織の概要 . . . 2
- 3 令和6年度糸島保健福祉事務所 業務案内 . . . 3

III 業務の概要

【総務企画課】

〈総務係〉

- 1 庶務及び財務会計及び庁舎管理事務 . . . 4

〈企画指導係〉

- 1 保健所運営協議会等 . . . 4
- 2 総合相談 . . . 6
- 3 情報発信等 . . . 6
- 4 離島対策 . . . 7
- 5 免許事務 . . . 8
- 6 保健統計・報告等 . . . 8
- 7 医務 . . . 8
- 8 薬務 . . . 9
- 9 その他の事務 . . . 10

【健康増進課】

〈健康増進係〉

- 1 難病対策事業 . . . 11
- 2 栄養改善事業 . . . 12
- 3 健康増進事業 . . . 14
- 4 歯科保健事業 . . . 15
- 5 原爆被爆者援護 . . . 15
- 6 母子保健事業 . . . 16
- 7 肝炎対策 . . . 17
- 8 在宅医療推進事業 . . . 18

〈精神保健係〉

- 1 精神医療対策事業 . . . 23
- 2 こころの健康づくり推進事業 . . . 23
- 3 精神障がい者社会復帰促進事業 . . . 25

【保健衛生課】

- 1 食品衛生業務 . . . 27
- 2 獣疫業務 . . . 29
- 3 環境衛生関係営業六法等に係る業務 . . . 30
- 4 結核対策 . . . 31
- 5 感染症対策 . . . 32

【社会福祉課】

- 1 児童福祉 . . . 35
- 2 高齢者福祉 . . . 35
- 3 介護保険 . . . 35
- 4 女性・ひとり親家庭への支援 . . . 36
- 5 障がい者福祉 . . . 37
- 6 社会福祉法人関係業務 . . . 38

IV 資料 . . . 39

I 管内の概況

1 地域の特徴

当事務所の管轄区域である糸島市は、福岡県の西部に位置し、面積は 215.7 平方キロメートル、東は福岡市、西は唐津市と境を接し、南は脊振山系の山々に囲まれ、北は対馬海流の流れる玄界灘に面しています。

市内には、古くは万葉の歌にも詠まれ「糸島富士」とも呼ばれる可也山、ダイナミックな海岸線を織りなす二見ヶ浦や芥屋の大門、美しい白砂青松の幣の浜や姉子の浜、背振山系の山々からの水をたたえた白糸の滝などの名勝があります。風光明媚な景勝地が多く、市の広い区域が玄海国立公園及び背振雷山県立自然公園に指定されています。

この地域を東西に国道 202 号及び西九州道、福岡市営地下鉄と相互乗り入れをする JR 筑肥線が通っています。さらに福岡市等と結ぶ主要地方道も整備が進んでおり、福岡都市圏のベッドタウンとして発展しています。

気候は年間を通じて温暖で、野菜・花き・果物の産地として有名です。都市近郊型の農業や畜産業、そして豊かな漁場での漁業が盛んであり、休日には新鮮で多彩な農畜産物・海産物を求める多くの人たちが、市内各所の直売所を訪れています。

また、海と山のレジャースポット、多種多様な工房や遺跡・文化財をめぐるドライブコースがテレビや雑誌などで広く紹介され、全国から多くの観光客が訪れています。

福岡市に隣接する地理的条件に加え、平成 30 年度には九州大学伊都キャンパスが糸島市の一部を含む福岡市西区に移転を完了し、およそ 1 万 9 千人規模の学生と教職員がキャンパスとその周辺で活動しています。また、平成 31 年 3 月には新たに JR「糸島高校前駅」が開業し、周辺の土地区画整理事業により人口は増加傾向にあります。

市の一部は九州電力玄海原子力発電所から 30km 圏内（防災対策を重点的に行う必要がある区域）に位置しています。

2 糸島市の人口・世帯数・面積

(令和 6 年 3 月末現在)

人口 (人)			世帯数	面積 (km ²)
計	男	女		
103,655	49,820	53,835	46,192	215.7

【人口・世帯数】出典：住民基本台帳

Ⅱ 糸島保健福祉事務所の概要

1 沿革

昭和 19年 4月
昭和 29年 9月

元前原町立診療所を譲り受けて前原保健所開設。

糸島保健所として、前原町大字前原 558-1 に新築移転。

当保健所の管轄区域は、当初 1 町 13 村でしたが、昭和 30 年の町村合併及び昭和 36 年の一部村の福岡市編入により 3 町になりました。

昭和 59年 2月
平成 14年 9月
平成 4年 10月
平成 16年 10月
平成 21年 10月

糸島郡前原町大字浦志 216-1 の糸島総合庁舎に入居。

福岡福祉事務所と統合し「糸島保健福祉環境事務所」となりました。

市制施行により所在地が前原市前原町大字浦志 216-1 となりました。

住居表示の変更により所在地が前原市浦志 2 丁目 3 番 1 号となりました。

県庁機構改革の一環として、環境課が筑紫保健福祉環境事務所に統合され「糸島保健福祉事務所」となりました。

平成 22年 1月

市町合併により管轄区域は 1 市となり、生活保護業務等が糸島市に移行されました。

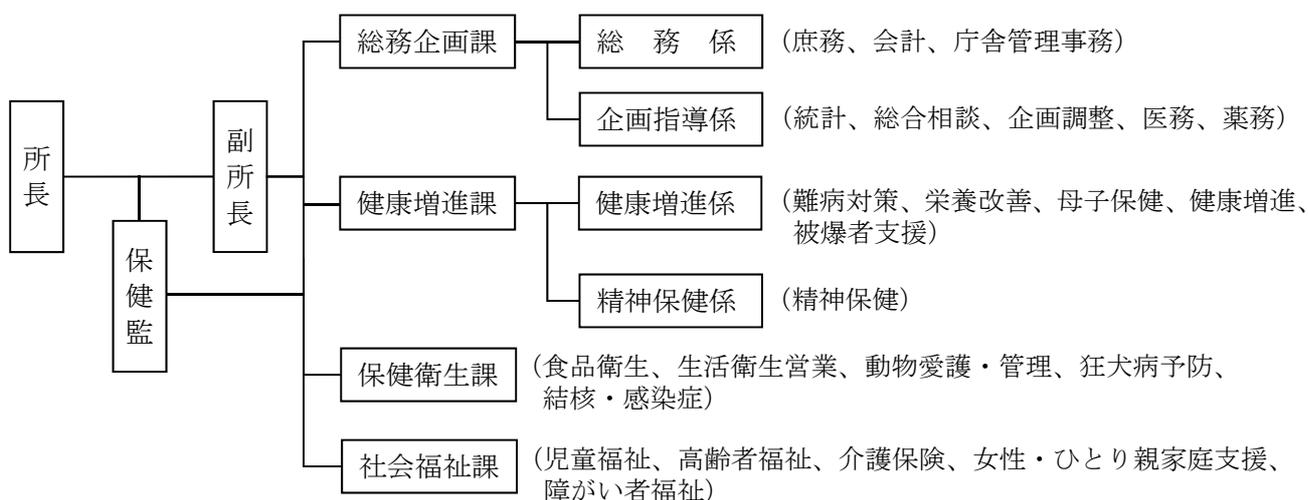
2 組織の概要

(1) 所在地及び管轄区域

所在地 福岡県糸島市浦志 2 丁目 3 番 1 号

管轄区域 糸島市

(2) 組織機構及び分掌事務



(3) 職員数

(令和 6 年 5 月末現在)

区分	職員数	所長	保健監	副所長	総務企画課	健康増進課	保健衛生課	社会福祉課
一般事務	15	1	0	1	5	2	1	5
医師	1	0	1	0	0	0	0	0
獣医師	3	0	0	0	0	0	3	0
薬剤師	2	0	0	0	1	0	1	0
診療放射線技師	1	0	0	0	1	0	0	0
臨床検査技師	1	0	0	0	0	0	1	0
管理栄養士	2	0	0	0	0	2	0	0
保健師	10	0	0	0	1	6	3	0
助産師	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師	0	0	0	0	0	0	0	0
庁務	1	0	0	0	1	0	0	0
運転士	0	0	0	0	0	0	0	0
動物愛護管理技術員	1	0	0	0	0	0	1	0
合計	37	1	1	1	9	10	10	5

3 令和6年度糸島保健福祉事務所 業務案内

業務内容	受付曜日	受付時間	担当課・係
子どもの発達等に関する相談	月～金曜日	8:30～17:15	健康増進課[健康増進係]
総合栄養相談 [予約制]	月～金曜日	8:30～17:15	健康増進課[健康増進係]
不妊・不育と性の相談	月～金曜日	8:30～17:00	健康増進課[健康増進係]
こどものことば発達相談 [予約制]	奇数月 第4木曜日	9:30～11:30	健康増進課[健康増進係]
難病相談（難病ホットライン） （専用電話 TEL:092-321-0083）	月～金曜日	8:30～17:15	健康増進課[健康増進係]
B型肝炎・C型肝炎の検査及び相談 [予約制]	毎週火曜日	10:00～11:00	健康増進課[健康増進係]
精神保健福祉相談(保健師等による)	月～金曜日	8:30～17:15	健康増進課[精神保健係]
精神保健福祉相談(精神科医による) [予約制]	第1～4水曜日	13:30～14:30	健康増進課[精神保健係]
女性・ひとり親家庭の生活相談	月～金曜日	8:30～17:15	社会福祉課
飼えなくなった犬・猫の引き取り (事前相談が必要)	毎週水曜日※	9:00～11:00	保健衛生課
HIV、梅毒、クラミジア、淋病の検査及び 相談 [予約制]	毎週火曜日	10:00～11:00	保健衛生課

(ただし、土、日、祝祭日、年末年始は休みます)

※犬・猫の引き取り(有料):生後91日未満400円/1頭・生後91日以上2,000円/1頭

必ず事前に相談してください。

〈お問い合わせ先〉

福岡県糸島保健福祉事務所

〒819-1112 糸島市浦志二丁目3番1号

☆TEL

【総務企画課】 総務係 092-322-3269

企画指導係 092-322-5186

【健康増進課】 健康増進係 092-322-1439

精神保健係 092-322-3326

【保健衛生課】 食品生活衛生 092-322-3268

感染症 092-322-5579

【社会福祉課】 092-322-1449

☆FAX

092-322-9252

Ⅲ 業務の概要

総務企画課

総務係

- 1 庶務及び財務会計及び庁舎管理事務
 - (1) 人事、服務、研修、給与等庶務に関する事務
 - (2) 財務・会計に関する事務
 - (3) 庁舎管理に関する事務

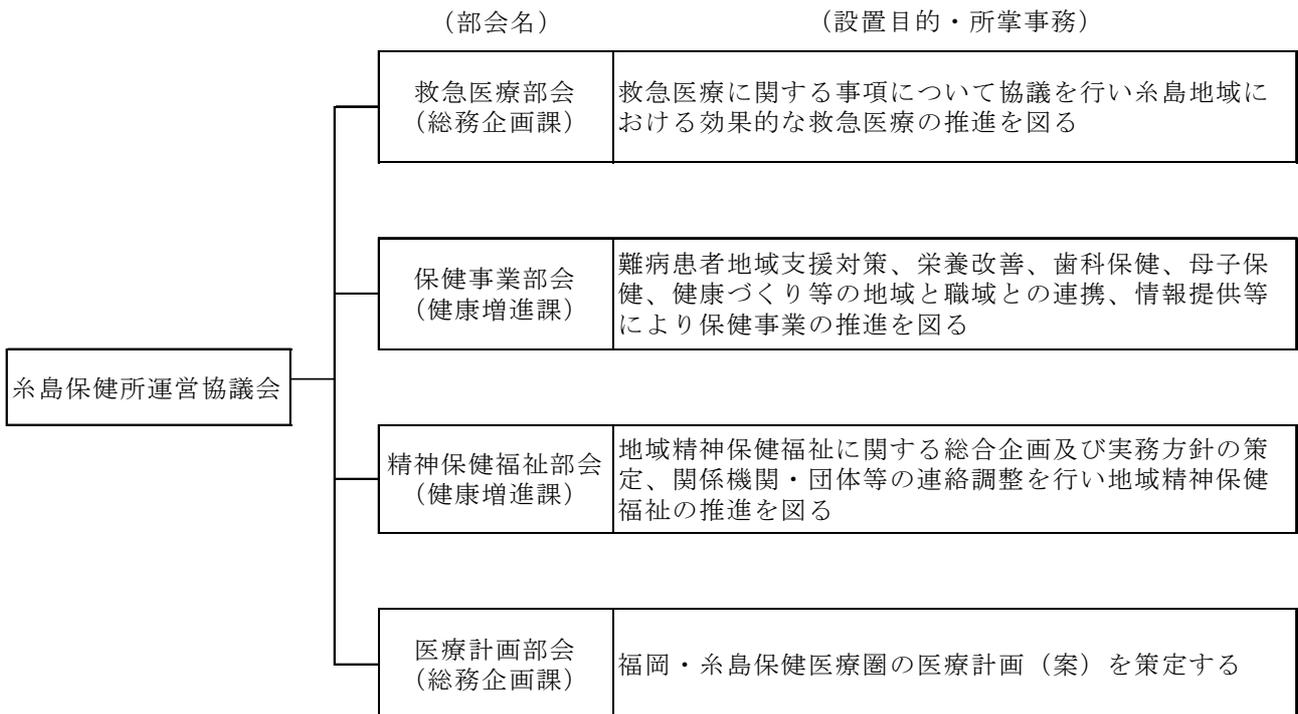
企画指導係

1 保健所運営協議会等

(1) 糸島保健所運営協議会

地域保健法第 11 条の規定に基づき、保健所運営協議会を設置しています。糸島保健所運営協議会は 4 つの部会を置き、地域保健対策の推進及び保健所の運営に関する事項を審議しています。

(2) 糸島保健所運営協議会・部会組織図



(3) 保健所運営協議会及び各部会開催状況

名 称	開催日及び場所	内 容
糸島保健所運営協議会	令和5年10月25日 糸島総合庁舎大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関による新型コロナウイルス感染症へのこれまでの取組みと課題 各部会報告 令和4年度主要事業の実施状況及び令和5年度重点事業
救急医療部会	令和5年8月24日 糸島総合庁舎大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関による救急医療活動報告 令和4年度救急医療事業報告及び令和5年度救急医療事業計画
保健事業部会	令和5年8月17日 糸島総合庁舎大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代の健康づくり 令和4年度保健事業報告及び令和5年度保健事業計画
精神保健福祉部会	令和5年9月13日 糸島総合庁舎大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム 令和4年度精神保健福祉事業報告及び令和5年度精神保健福祉事業計画

(4) 糸島地区健康危機管理

県民の生命及び健康を脅かすような健康被害の発生予防、拡大防止、治療等に関することを迅速かつ適切に行うため、糸島地区健康危機管理マニュアルを作成し、危機管理全般にわたる総合的な関係機関の連絡体制の整備を図っています。

令和2年度から救急医療部会と同時に開催しています。

(5) 地域医療構想（保健医療計画の一部）

地域医療構想は、病床の機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに将来の医療需要と必要病床数を推計し、団塊の世代が75歳となる2025年のあるべき医療提供体制を明らかにするため、保健医療計画の一部として策定しました。この構想の実現のため、地域医療構想調整会議及び医療機能分化連携推進部会において協議・調整を行っています。

【地域医療構想調整会議】

区分	開催日及び場所	内 容
福岡 ・ 糸島	令和5年7月18日 福岡市医師会館講堂	<ul style="list-style-type: none"> 病床機能分化・連携促進施設整備事業について 医師の働き方改革を踏まえた救急医療提供体制について 紹介受診重点医療機関について
	令和5年10月25日 福岡県庁講堂	<ul style="list-style-type: none"> 第8次医療計画及び第9期介護保険事業計画の整合性の確保について 病床機能再編支援事業について 福岡県外来医療計画の見直しについて 地域医療構想の進捗状況等について 医師の働き方改革を踏まえた救急医療提供体制と議論の優先的事項について
	令和6年3月27日 福岡市医師会館講堂	<ul style="list-style-type: none"> 小児等地域療育支援病院の整備について 新規開業に伴う外来医療提供等報告書等の改訂について 紹介受診重点医療機関について 医師の働き方改革を踏まえた救急医療提供体制について

【医療機能分化連携推進部会】

区分	開催日及び場所	内 容
福岡 ・ 糸島	令和5年7月18日 福岡市医師会館講堂	・病床機能等の変更に関する報告書について
	令和5年8月23日 (Web開催)	・医療機関が担う役割等変更に関する報告書について
	令和5年12月8日 福岡市医師会館講堂	・病床機能等の変更に関する報告書について ・新規開業に伴う外来医療提供等報告書について

2 総合相談

県行政や生活一般等に関する相談、問い合わせ、意見等の受付及び専門機関への案内等を行っています。

3 情報発信等

(1) 地域保健福祉に関する情報の提供

ア 令和5年度事業概要の作成

80部作成し、糸島市等に配布しました。

イ 地域保健ライブラリー

地域保健等に関する書籍・ビデオを整備し、閲覧・貸し出しを行っています。

(2) 救急医療に係る普及啓発事業

ア 救急医療に係るキャンペーン

救急医療に対する県民の正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、国が定めた「救急の日(9月9日)」及び「救急医療週間」にあわせて、関係団体の協力のもと街頭キャンペーンや救命講習会を実施しています。令和5年度については、懸垂幕の掲示や関係機関にポスター等を配布し、普及啓発を行いました。

イ 救命講習会

心停止者に対する救命率の向上を図るため、平成16年7月1日から非医療従事者についてもAEDの使用が認められています。当所では、平成17年度から講習会等を実施し、AEDの普及啓発に努めています。

(3) 薬物乱用防止に関する普及啓発

ア 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

麻薬・覚醒剤・大麻等の薬物乱用の撲滅を訴えるため、国連が定めた「国際麻薬乱用撲滅デー(6月26日)」にあわせ、関係団体の協力のもと街頭キャンペーンを実施しています。

【令和5年度実施状況】

実施日	場 所	内 容	参加者数
令和5年6月22日(木)	JR 筑前前原駅周辺	「6・26 ヤング街頭キャンペーン」 各団体の協力による街頭啓発、 リーフレット配布、のぼりの設置 等	36名

イ 薬物乱用防止啓発事業

パンフレット等の薬物乱用防止啓発資料を、県立高校や公民館等へ配布しました。また、小学校等の薬物乱用防止講座に模擬麻薬の貸出をしました。

【令和5年度実施状況】

ビデオ・DVD	パネル	模擬麻薬	パンフレット等
3回	-	2回	533部

(4) 糸島市出前講座の実施状況

糸島市の「糸島市出前講座」のうち、糸島保健福祉事務所では、薬の安全使用・在宅医療・こころの健康・犬猫の適正飼養・食中毒予防・感染症予防・DV等の講座について、地域住民からの依頼に基づき講師派遣を行っています。

令和5年度は講師派遣を7回行い、延べ94名が受講しました。

(令和5年度)

No.	講座名	実施件数
1	身近なお薬のお話	0
2	薬物乱用防止教室	0
3	人生の最期をどこで過ごしますか？～在宅医療について～	0
4	こころの健康、大切にしていますか？	3
5	あせらず・のんびり・ゆっくりと～心の病 統合失調症～	1
6	酒は百薬の長というけれど・・・？	0
7	働く人のメンタルヘルス	0
8	あなたもゲートキーパー	1
9	犬・猫の飼い方講座（適正飼養）	0
10	地域猫活動について	0
11	食中毒予防のお話	1
12	防げます！！0157、ノロウイルス	0
13	インフルエンザについて	1
14	ひょっとして結核？結核について知りたいあなたへ	0
15	一人で悩んでいませんか？（DVから身を守るには）	0
16	ひとり親家庭（お母さん等）のみなさまへ	0

(5) 実習生・研修生の受け入れ

保健医療福祉サービスを担う人材育成のため、大学等から実習生等を受け入れています。

令和5年度は下記のとおり受け入れました。

【令和5年度受け入れ状況】

学校名	学科	人数	実習期間
福岡大学	医学科	5名	令和5年5月31日及び6月1日（2日間）
福岡国際医療福祉大学	看護学科	3名	令和5年8月21日～8月25日（5日間）
中村学園大学	栄養科学科	7名	令和5年10月2日～10月6日（5日間）

4 離島対策

離島対策の一環として、姫島において健康教室等を実施しています。

今後も引き続き、姫島在住の住民の方々の健康の保持及び増進を目的として実施していきます。

5 免許事務

厚生労働大臣免許、県知事免許の申請の受け付けを行っています。

申請の種類：新規申請、籍(名簿)訂正・免許証書換え交付、免許証再交付、登録の抹消

【免許受付状況】

(令和5年度)

区分	新規申請	訂正・書換	再交付	抹消	計
医師	2	1	1	0	4
歯科医師	0	0	0	0	0
保健師	4	5	1	0	10
助産師	1	1	0	0	2
看護師	32	24	3	0	59
准看護師	6	2	2	0	10
診療放射線技師	1	0	2	0	3
臨床検査技師	2	2	0	0	4
薬剤師	0	2	0	0	2
理学療法士	13	4	1	0	18
作業療法士	5	2	2	0	9
視能訓練士	0	0	1	0	1
管理栄養士	7	6	0	0	13
栄養士	4	14	2	0	20
合計	77	63	15	0	155

6 保健統計・報告等

(1) 厚生統計調査

人口動態調査	毎月
医療施設動態調査	毎月
病院報告	毎月
衛生行政報告例・不妊手術及び人工妊娠中絶年度報告	毎年度
地域保健・健康増進事業報告	毎年度
国民生活基礎調査	毎年
医師・歯科医師・薬剤師調査	2年に1回(R4年12月実施)
医療施設静態調査	3年に1回(R5年10月実施)
患者調査	3年に1回(R5年10月実施)
受療行動調査	3年に1回(R5年10月実施)
社会保障・人口問題基本調査	毎年(R5年：「人口移動調査」を実施)

(2) その他

保健所保健師活動報告	毎年
保健師等活動領域調査	毎年
保健師、助産師、看護師、准看護師業務従事者届	2年に1回(R4年度実施)

7 医務

(1) 病院・診療所数及び病床数

(令和6年3月31日現在)

施設数	病院				診療所				歯科診療所施設数
	病床数				施設数	病床数		内療養病床数	
一般	療養	精神	計	内有床施設数					
8	282	154	458	894	87	10	122	19	47

(2) 立入検査

医療法等の法令に基づき、病院等への立入検査を実施しています。
 病院は毎年、有床診療所は3年に1回、無床診療所は5年に1回、立入検査を行っています。
 この他、助産所、衛生検査所、整骨院や鍼灸院等の施術所にも、立入検査を行っています。

ア 病院

- 説明会：令和5年9月7日
- 実施期間：令和5年12月14日～令和6年1月29日
- 施設数：8か所

イ 診療所

- 実施期間：令和5年7月5日～令和5年8月30日
- 施設数：31か所（有床診療所4、無床診療所14、歯科診療所13）

(3) 糸島地区医療安全対策研修会

医療の安全対策の一環として、平成19年度から研修会を実施しています。

ア 病院・医科診療所・高齢者施設

- 実施日：令和5年11月22日
- 場所：糸島医師会2階大研修室
- 主な内容：糸島の結核
SARS-COVID 拠点病院等
- 参加者数：36人

イ 歯科診療所

- 実施日：令和5年12月22日
- 場所：糸島総合庁舎大会議室
- 主な内容：歯科診療所における医療安全対策について
診療用放射線の安全利用について
- 参加者数：36人

8 薬務

(1) 糸島管内薬局等許可状況及び令和5年度新規申請等の件数

(令和5年度)

	業種名	5年度末許可件数	新規	更新	廃止	変更
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	薬局	56	2	9	2	145
	店舗販売業	22	1	1	1	84
	卸売販売業	3	0	3	0	4
	特例販売業	0	0	0	0	0
	配置販売業	0	0	0	1	0
	薬局製剤製造業	0	0	0	0	0
	薬局製剤製造販売業	0	0	0	0	0
	高度管理医療機器等販売業、高度管理医療機器等貸与業	35	0	5	1	18
小計	116	3	18	5	251	
劇物取扱法	一般	15	0	3	0	0
	農薬用品目	5	0	1	0	0
	特例品目	1	0	0	1	0
	小計	21	0	4	1	0
	合計	137	3	22	6	251

(2) 麻薬関係手続業務

- ア 麻薬免許申請 71(管理者 9、施用者 43、小売業者 19)
- イ 麻薬記載事項変更届 10(管理者 0、施用者 7、小売業者 3)
- ウ 麻薬業務廃止届 8(管理者 2、施用者 4、小売業者 2)

(3) けし不正栽培の監視

不正けし抜去件数 14 件 1,878 本

9 その他の業務

(1) 災害発生時における調整業務

災害時には、総務企画課が窓口となり、各課連携のもと「糸島保健福祉事務所災害時対応マニュアル」に基づいて対応しています。

(2) 令和5年度福岡県原子力防災訓練

福岡県では、玄海原子力発電所で大規模な事故が発生した場合に備え、平成24年から県、市町村、消防、警察、自衛隊等の関係機関、地域住民等が参加する、大規模な原子力防災訓練（情報収集・伝達、広域避難、原子力災害医療、緊急時モニタリング等）を実施しています。

(3) 安定ヨウ素剤の事前配布説明会

糸島市の一部が玄海原子力発電所から概ね30km圏内（UPZ）にあり、原子力災害の発生時には、UPZ内の住民に対し安定ヨウ素剤を緊急配布することとなっています。緊急時に速やかに受け取ることが困難な住民に対し、福岡県と糸島市が事前配布説明会を行い、安定ヨウ素剤を配布しました。

	実施日	場 所	配布人数（世帯数）
1	令和5年11月5日（日）10:30～11:30	深江コミュニティセンター	46人（21世帯）
2	令和5年11月19日（日）10:30～11:30	引津コミュニティセンター	23人（10世帯）

(4) 地域医療従事者人権・同和問題啓発研修

同和問題をはじめとする人権問題について、正しい理解と認識を深め、人権意識の徹底を図るため、日頃医療機関や介護の現場において人権に関わることの多い医療介護従事者等を対象に、研修会を開催しています。

令和5年度は、令和5年12月22日（金）に開催した医療安全研修会において実施しました。

健康増進課

健康増進係

1 難病対策事業

(1) 特定医療費(指定難病) 医療費助成制度

平成 26 年 5 月 23 日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成 27 年 1 月 1 日から、特定医療費(指定難病) 医療費助成制度が始まりました。令和 6 年 4 月からは 341 疾病が対象となっています。(管内受給者数 855 人、内訳は P21~22 掲載)

※スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎、重症急性膵炎、プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。)の 4 疾患については、特定疾患治療研究事業として医療費助成が行われます。なお、「難治性肝炎のうち劇症肝炎」「重症急性膵炎」については、平成 26 年 3 月 31 日までに受給者として認定された方が対象です。

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 難病相談・講演会等

○難病相談等

難病患者等に専門職から適切な指導を行うことにより、難病患者の療養上の不安の解消及び効果的な療養生活支援を行っています。

○難病相談従事者研修会

難病患者の在宅療養支援に関する専門的知識とスキルの向上を図るために、介護支援専門員等に対して研修会を実施しています。

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和 5 年 11 月 16 日 (Web 開催)	講演：「難病患者が利用可能な公的制度の活用について」 講師：福岡県難病相談支援センター 原田 幸子 氏	介護支援専門員、訪問看護事業所、高齢者等入所施設の職員	60 人

イ 難病ホットラインの設置

専用の相談電話により、患者・家族からの病気、福祉制度、経済面、日常生活などに関する相談に応じ、悩みや不安の解消・軽減を図っています。

令和 5 年度 電話相談件数 776 件

ウ 難病患者家庭訪問

在宅療養中の難病患者に対し、健康面及び保健・医療・福祉に関する相談援助を行い、患者及び家族の QOL の向上を図ることを目的に、筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に延 15 件の家庭訪問を行いました。

日常生活の場に出向くことにより療養状況を把握し、調整が必要な場合には訪問看護師、ケアマネージャー等関係者への早めの連絡や介護保険の申請や在宅ケアの情報提供などを行っています。

エ 難病対策地域協議会

在宅医療推進協議会(糸島地域難病対策地域協議会を兼ねる)で、難病患者地域支援対策推進事業について報告し、協議等を行っています。

オ 在宅人工呼吸器使用難病患者の災害等対策等

在宅人工呼吸器使用難病患者に対して停電等災害に備えた緊急連絡先、必要物品等について訪問看護ステーションを通して確認するとともに、地震・台風の際の注意喚起や安否確認しています。

また、緊急搬送が想定される方には、患者・家族の意思を確認し、患者情報を事前に管内消防本部へ情報提供し、支援体制を整備しています。

(3) 小児慢性特定疾病事業

ア 医療費助成制度

平成 26 年 5 月 30 日に「児童福祉法の一部を改正する法律」が改正され、平成 27 年 1 月 1 日から施行されました。令和 3 年 11 月 1 日の改正で、対象疾病が 16 疾患群 788 疾病に拡大されています。

【小児慢性特定疾病医療費受給者証所持者数】

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

区分	人	区分	人	区分	人
01 悪性新生物	10	07 糖尿病	9	13 染色体又は遺伝子 に変化を伴う症候群	2
02 慢性腎疾患	7	08 先天性代謝異常	1		
03 慢性呼吸器疾患	7	09 血液疾患	2	14 皮膚疾患	1
04 慢性心疾患	16	10 免疫疾患	0	15 骨系統疾患	2
05 内分泌疾患	18	11 神経・筋疾患	14	16 脈管系統疾患	3
06 膠原病	7	12 慢性消化器疾患	7	計 106 人	

イ 福岡県小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業

在宅で療養中の小児慢性特定疾病児童等が、在宅での療養が困難になった場合に、一時的に医療機関に入院できるよう支援する事業です。平成 30 年 1 月から開始しています。

(4) 小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリング事業

日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上、養育している親等の不安や悩みの軽減を図るために、福岡ブロックとして実施しています。

実施日	内 容
令和 5 年 12 月 15 日	講演会及び交流会 「成長期における食生活上の注意点～食べたいものを食べるために～」

2 栄養改善事業

(1) 健康増進法に基づく業務

ア 栄養指導

地域住民の栄養状態の改善及び食生活等生活習慣改善の促進を図るため、個別・集団を対象に栄養指導等を実施し、栄養表示基準をはじめとした食品表示や生活習慣病予防等の指導を行っています。

【栄養・運動指導延人数】

(令和5年度)

	栄養・食事	食品表示	健康増進	給食運営管理	その他	合計
個別指導	0	25	1	33	1	60
集団指導	30	0	0	55	20	105

イ 特定給食施設指導

健康増進法に規定された特定給食施設等に対し、個別指導（巡回指導・書面指導）や集団指導（研修会等）を実施しています。

(ア) 特定給食施設数 (77施設内訳)

(令和6年3月31日現在)

施設の 種類	病院	介護老人 保健施設	老人福祉 施設	社会福祉 施設	学校	児童福祉 施設	寄宿舍	計
施設数	9	5	8	5	24	24	2	77

(イ) 給食施設指導実施状況 (個別指導)

(令和5年度)

区 分	特定給食施設		その他の 給食施設	合 計
	1回100食以上又 は1日250食以上	1回300食以上又 は1日750食以上		
巡回指導延施設数	21	1	11	33
書面指導延施設数	0	0	0	0

(ウ) 給食施設指導実施状況 (集団指導)

(令和5年度)

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和6年 3月15日	講義：「令和5年度の巡回の指導事項（栄養）等 について」 「食品衛生に関すること」 「情報交換」 講師：糸島保健福祉事務所 健康増進課・保健衛生課 職員	保育所・幼稚園 の管理栄養士・ 栄養士等	19人

(エ) 栄養報告書の受理及び実態調査

届け出のある給食施設(特定給食施設・その他の給食施設)から提出される栄養報告書(7月分と2月分)を受理、また、2月に実態調査を実施しています。

(2) 栄養士関係業務

栄養士法に基づき、管理栄養士養成施設学生の保健所における公衆栄養学の臨地実習の指導、管内勤務の栄養士に対し栄養指導や栄養管理が効果的に実施できるよう支援しています。

ア 公衆栄養学臨地実習 7人(中村学園大学 令和5年10月2日～10月6日)

(3) 調理師関係業務

調理師法に基づき免許事務及び調理業務に従事する調理師の資質向上のため、研修会開催等を行っています。調理師試験は公益社団法人調理技術技能センターに委任して実施しています。

ア 調理師免許 交付数 29件(新規 19件、書換 5件、再交付 3件、書換・再交付 2件)

イ 調理師研修会 特定給食施設研修会等と兼ねて実施。

【調理師研修会】

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和6年 3月21日	講義：「健康づくりのための減塩の推進について」 講師：福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 准教授 梅木 陽子 氏	特定給食 施設の調 理師等	35人

(4) 食生活改善推進事業

食生活改善や健康づくり関連事業を効果的に実施するため、食生活改善推進員リーダーの再教育を行っています。

【食と健康教室】

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和5年 10月4日	講義：「人生の最期をどこで、どのように過ごしたいですか」 「県内他地区等の食進会の活動について」 講師：糸島保健福祉事務所 健康増進課健康増進係 職員	糸島市 食生活改 善推進員	30人

(5) 福岡県食環境整備事業

飲食店や弁当店において、ヘルシーメニュー（野菜たっぷり、塩分ひかえめ、カロリーひかえめ）の提供を促進することで、外食利用者が個々人の状況にあった食事を選択できる環境をつくり、自主的な健康づくりを支援しています。

(令和6年3月31日現在)

ふくおか食の健康サポート店登録数	12店舗
------------------	------

(6) 食品の栄養表示等の相談、指導

健康増進法第7章及び食品表示法に係る食品の表示に関する相談、指導及び普及啓発を行っています。

相談・指導件数		普及啓発等（集団指導）
食品表示法	健康増進法第7章	
15	10	0回

3 健康増進事業

(1) たばこ対策事業

喫煙は、多くの生活習慣病の危険因子であることから、未成年者の喫煙防止や、分煙、禁煙支援を推進しています。

(2) 地域・職域連携会議

地域と職域が連携して働く世代からの健康づくり対策を継続的・効果的に実践するために、関係機関と連携し、情報の共有や取り組みについて協議を行っています。

(3) 生活習慣病重症化予防対策事業

福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを受けて、糖尿病重症化予防の取組みを行っています。

ア 糖尿病連携実務者会議 1回

糖尿病や慢性腎臓病等の生活習慣病の発症及び重症化を予防するため、地域と医療が連携した受診勧奨や保健指導等について検討を行い、人工透析等への移行を防止し、患者の生活の質の向上を図るために、糸島地域での糖尿病医療連携の構築に取り組んでいます。

構成委員：医師会、医師会病院、歯科医師会、薬剤師会、糸島市、全国健康保険協会

イ 糖尿病連携実務者ワーキング会議 4回

実務者会議の課題について、関係者が具体的な取組内容等を検討し、実務者会議に提案しています。

(4) ふくおか健康づくり県民運動

県民一人一人が長生きしてよかったと実感できる社会を目指し、個人の健康づくりを支えるための取組を行っています。

ア 情報発信サイト等を活用した健康づくりに取組むきっかけづくりの提供

○情報発信サイト、体組成計や血管年齢測定器等を活用した生活習慣改善の情報提供
歯と口の健康のつどい 67人

イ 中小事業所の健康づくりに対する支援

○経営者に対する周知・啓発（健康づくり実践アドバイザー派遣事業）
食中毒予防講習会 356人

4 歯科保健事業

平成 23 年 8 月に「歯科口腔保健の推進に関する法律」が成立し、平成 25 年には、福岡県歯科口腔保健の推進に関する条例に基づき、福岡県歯科口腔保健支援センター（平成 26 年 4 月）が設置され、総合的に歯科口腔保健の推進を図っています。

(1) 歯と口の健康週間

歯と口の健康に関する正しい知識の普及啓発を目的に、糸島総合庁舎内でのポスター掲示や保育所等へのポスター配布を行っています。

また、糸島歯科医師会主催の「歯と口の健康のつどい」において、健康機器を活用したイベントコーナーを設置し、来場者に対し歯科口腔保健を始めとした健康づくり情報の発信を行っています。

(2) 地域保健関係職員等研修

管内の歯科保健を推進する体制の基盤整備のために、地域歯科保健事業関係者の資質向上を目的とした歯科保健研修を行っています。

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和 5 年 11 月 9 日	講義：「障がい児の口腔衛生管理について」 講師：つかもとヘルスケア歯科クリニック 歯科医師 塚本末廣 氏	訪問看護ステーション、障害児通所施設職員、障害児相談支援センター職員、小児慢性特定疾病のある子どもの保護者	18 人

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳等交付申請、諸手当支給認定申請、一般疾病医療機関指定申請、年 2 回（令和 2 年度は秋期に 2 回）の定期健康診断等に関する事務を保健所で実施し、被爆者健康診断は平成 13 年度から医療機関に委託して実施しています。

なお、平成 14 年 4 月から健康診断特例区域（第 2 種）が施行されたことにより、健康診断受診者証の交付が増加しています。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

【交付件数】

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

健康手帳	健康診断受診者証（第 1 種）	健康診断受診者証（第 2 種）	計
112	1	10	123

(2) 各種手当支給状況

【受給者数】

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

医療特別手当	特別手当	健康管理手当	保健手当（一般）	保健手当増額	小 計	介護手当	葬祭料
5	2	81	2	0	90	0	5

(3) 定期健康診断

【実施件数】

(令和5年度)

区 分	件 数	区 分	件 数	区 分	件 数
一般検査	22	喀痰	0	大腸がん	10
肝機能検査	19	乳がん	1	骨髄腫	10
ヘモグロビンA1C	19	子宮がん	1	精密検査	0
胃がん	11	子宮がん体部	0		
肺がん	11	子宮がんコルポ	0		

6 母子保健事業

(1) 新生児マス・スクリーニング検査事業

先天性代謝異常症等の早期発見及び早期治療を目的としたマス・スクリーニング検査の結果、要精密となった方の保護者に対して、医療継続や育児不安への支援を行っています。

令和5年度 2件

(2) 乳幼児発達診査事業（こどものことば発達相談）

心身の正常な発達に関して諸問題を有している児や、乳幼児健診及び家庭訪問等で精神運動発達面及び言語発達面において障害を残すおそれのある乳幼児に対して、市や医療機関との連携のもとに、発達診査や相談を行っています。

回数	受診数
6回	17人

(3) 慢性疾病児童等療育相談支援事業

ア 育児支援教室

家族の不安や悩みの軽減を図るために、児童の疾病や育児について同様の問題や不安を持つ家族間の交流会を実施しています。

実施日	内 容
令和5年11月9日	慢性疾病をもつ子どもの家族のための講演会

イ 療育相談指導

小児慢性特定疾病継続申請時に相談会を実施しています。

実施日	内 容	対象者
令和5年11月9日	福岡県難病相談支援センター自立支援相談員による個別相談会	小児慢性特定疾病児童等の保護者

(4) ハイリスク妊産婦支援事業（妊娠期からのケア・サポート研修会）

妊娠期から精神的に不安定な母親や身体症状で受診する子どもたちの背景にある心の問題を理解し、その支援方法を学ぶことで、管内の子育て支援関係者の資質向上を図るために研修会を実施しています。

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和5年 10月16日	講演 「精神疾患の理解と対象者への支援について」	糸島市役所職員 糸島保健所職員	27人

(5) 新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業

新型コロナウイルスの感染が認められ相談支援を希望する妊産婦に対して、電話や訪問等で不安や悩みを傾聴し、健康管理や育児に関する助言等を実施しています。

令和5年度 0件

(6) 生涯を通じた女性の健康支援事業

思春期から更年期に至る女性特有の心身の専門的な問題に関する内容について、研修会等を実施しています。

(7) 不妊治療等支援事業

不妊に悩む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図るため、先進医療による不妊治療に係る費用の一部助成や相談を実施しています。

(8) 不育症検査費・治療費助成事業等

不育症の検査及び治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため、不育症検査費・治療費助成事業等を実施しています。

7 肝炎対策

(1) 相談・検査事業

B型肝炎及びC型肝炎ウイルスへの感染者を早期に発見し、早期治療により慢性肝炎・肝硬変肝がんなどの発生を予防する事を目的として「肝炎相談・検査事業」を行っています。

また、医療機関でのウイルス検査で陽性となり、精密検査等の未受診者には受診勧奨を行っています。

ア 医療機関での無料検査

対象者：20歳以上で、県と委託する検査実施医療機関において検査が必要と認められた者

イ 保健所での検査・相談

(令和5年度)

肝炎ウイルス検査等に関する相談 (件)		256
肝炎ウイルス検査	B型肝炎	7
	C型肝炎	7

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため肝炎ウイルス検査を令和5年度に再開)

(2) 肝炎治療特別促進事業

早期治療を推進するため、平成20年4月からB型(核酸アナログ製剤治療)・C型(インターフェロン(フリー)治療)肝炎ウイルス除去を目的とするインターフェロン治療に対して、医療費の一部助成をおこなっています。平成22年4月からは核酸アナログ製剤治療も助成の対象となり、また平成26年4月からはインターフェロンフリー治療を助成対象に追加するなど、より利用しやすい制度となっています。

(令和6年3月31日現在)

申請数	インターフェロン	インターフェロンフリー	核酸アナログ製剤	
			新規	更新
	0件	11件	7件	99件

(3) 福岡県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

B型・C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんの療養者に対し、精密検査又は定期検査の費用を助成することにより、早期治療や定期的な医療機関の受診につなげ、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図っています。

(令和5年度)

申請数	初回精密検査受診	初回精密検査費用請求	定期検査受診	定期検査費用請求
		0件	0件	2件

(4) 福岡県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

平成30年12月に開始した、肝がん・重度肝硬変の入院医療費を助成し患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的とした事業です。

8 在宅医療推進事業

誰もが望む場所で安心して療養生活を送ることを目的に、市民への普及啓発、医療・福祉・行政等の関係機関の相互の連携を強化し、在宅医療体制の推進を図っています。

(1) 相談状況

(令和5年度)

	相談実数 (人)	相談延件数 (人)	(相談手段 内訳)		
			電話	訪問	面接
が ん	3	3	3	0	0
難 病	140	232	135	15	82
その他	1	1	1	0	0
合 計	144	236	139	15	82

(2) 統計資料について

ア 在宅死亡率について

(単位:人)

		総数 ①	病院	診療所	介護医 療院・ 介護老 人保健 施設 ②	助 産 所	老人 ホーム ③	自宅 ④	その他	在宅 死亡率 (②+③+④)/①	施設 死亡率 (②+③)/①
全 国	R2	1,372,755	938,130	21,455	45,606	1	125,722	216,103	25,738	28.2%	12.5%
	R3	1,439,856	949,403	21,529	51,013	1	143,689	247,896	26,325	30.7%	13.5%
	R4	1,569,050	1,011,326	21,699	61,594	-	172,727	273,265	28,493	32.3%	14.9%
福 岡 県	R2	53,273	40,218	641	1,447	0	3,392	6,778	797	21.8%	9.1%
	R3	56,410	41,400	669	1,701	0	3,935	7,917	788	24.0%	10.0%
	R4	61,302	44,045	665	1,985	0	4,893	8,839	875	25.6%	11.2%
糸 島 市	R2	1,026	783	60	37	0	37	97	12	16.7%	7.2%
	R3	1,066	768	62	56	0	45	125	10	21.2%	9.5%
	R4	1,226	891	62	43	0	66	145	19	20.7%	8.9%

(人口動態統計資料より)

(3) 会議・協議会について

在宅医療及び地域包括ケア推進に係る連携協定に関する事項について、各団体の事業展開を検討及び共有することを目的に関係団体と定期的に会議を実施しています。また、糸島地域在宅医療推進協議会を開催し、糸島地域の在宅医療の現状及び課題を共有し、来年度の計画等について協議しています。

会議名 (回数)	出席者	内容
在宅医療・介護連携推進に係る実務者会議 (計5回出席)	糸島医師会メディカルカフェ、糸島歯科医師会糸島口腔保健センター、糸島薬剤師会、糸島市介護・高齢者支援課、基幹型地域包括支援センター、当所	市、医師会、歯科医師会、保健所の実務者で在宅医療に係る各機関の事業の共有、企画の検討、協力強化
市・保健福祉事務所連絡会 (計1回)	糸島市介護・高齢者支援課、糸島市健康づくり課、糸島市国保年金課、当所	「地域包括ケアの推進に関する連携協定」、在宅医療推進に係る事項について情報共有
「地域包括ケアの推進に関する協定」連携推進会議 (計1回)	糸島医師会、糸島歯科医師会、糸島薬剤師会、糸島市、当所	「地域包括ケアの推進に関する協定」に係る各機関の取組み内容等について共有・検討
糸島地域在宅医療推進協議会 (年1回)	糸島医師会、糸島歯科医師会、糸島薬剤師会、医療機関、訪問看護事業所、社会福祉協議会、区長会、民生委員協議会、介護事業者連絡会、糸島市、当所	在宅医療推進事の取組状況、次年度の事業計画(案)等についての協議
訪問看護ステーション連絡会 (随時)	糸島医師会、訪問看護ステーション、当所	訪問看護ステーション間の相互連携や情報共有の把握等
認知症初期集中支援チーム員会議 (計5回出席)	糸島医師会、医療機関、地域包括支援センター(基幹型含)、糸島市、当所	早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的としてオブザーバー参加
地域ケア会議 (計12回出席)	糸島市、地域包括支援センター(基幹型含)、アドバイザー、居宅介護支援事業所、当所	高齢者の個別課題の解決を図るための、地域の現状や課題把握・情報共有
地域包括支援センター事務局連絡会議 (計11回出席)	糸島市、地域包括支援センター(基幹型含)、当所	各地域包括支援センターの運営状況・課題の共有・質の向上に向けた協議
在宅医療・介護連携従事者支援事業 (計2回参加)	三菱UFJリサーチ&コンサルティング、県高齢者地域包括ケア推進課、県医師会、当所	県が医師会へ委託 在宅医療・介護連携従事者の資質向上、体制構築を目的とし、実態把握・情報共有

(4) 在宅医療従事者研修について

在宅医療に係る職種を対象に、多職種連携スキル、施設看取り、在宅医療推進に関する資質向上、連携体制強化を目的に実施しています。

ア 保健所主催研修

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和5年10月24日 (Web開催) 主催:当所	在宅医療推進事業スキルアップ研修会 「高齢者施設における看取り」 講師:福岡県難病相談支援センター 深川 知栄氏	高齢者等入所施設等、訪問看護事業所の職員	26人

イ 他の関係機関との共催等研修

	実施日	内 容	参加者	参加者数
1	令和6年2月22日 主催:糸島医師会	あるある課題アクション報告会 講演「コンパッションに支えられた コミュニティ」 堀田 聡子氏	地域リーダー及び 圏域リーダー並び に医療従事者・介護 支援専門員等	74人

(5) 住民啓発について

住民が「医療依存度が高くても最後まで希望する場所で療養できる。在宅医療を選択肢の一つとして考える。」ことを目的に、関係団体と協働して住民啓発を実施しています。

出前講座では、糸島地域の相談窓口チラシや在宅医療に関するパンフレット等の配布も行っています。

ア 講座

	実施日・場所	内 容	参加者数
1	令和5年10月4日 糸島総合庁舎	「人生の最期をどこで、どのように過ごしたいですか。」	36人

イ 在宅ホスピスボランティア講座

在宅療養をサポートするホスピスボランティアの育成及び在宅医療の啓発を目的として、NPO法人ふくおか在宅ホスピスをすすめる会が主催し、いとしま在宅ホスピスボランティアヴィオラ及び糸島医師会メディカルカフェが共催で実施し、当所は後援している。受講者には、いとしま在宅ホスピスボランティアヴィオラを案内し、ホスピスボランティアの活動に繋がっています。

	実施日・場所	内 容	参加者数
1	令和5年10月14日～ 11月28日までの5日間 糸島市健康福祉センター あごら	在宅ホスピスボランティア養成講座 in 糸島	79人

(6) 社会資源情報の提供

平成27年度に関係団体と作成した管内の在宅医療・介護に係る社会資源のマップと名簿を毎年更新しています。

(「糸島市在宅医療・介護のマップとガイド」 <http://www.itoshima-med.or.jp/original19.html>)

【特定医療費(指定難病)受給者数】

(令和6年3月31日現在)

臨床調査個人票番号	疾 病 名	人数
200	筋萎縮性側索硬化症	10
300	脊髄性筋萎縮症	3
400	原発性側索硬化症	1
500	進行性核上性麻痺	7
600	パーキンソン病	91
700	大脳皮質基底核変性症	3
900	神経有棘赤血球症(有棘赤血球を伴う舞蹈病)	1
1000	シャルコー・マリー・トゥース病	2
1100	重症筋無力症	18
1300	多発性硬化症/視神経脊髄炎	21
1400	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	5
1500	封入体筋炎	2
1700	多系統萎縮症	6
1800	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	27
2100	ミトコンドリア病	2
2200	もやもや病	15
2600	HTLV-1 関連脊髄症	2
2800	全身性アミロイドーシス	12
3500	天疱瘡	6
3700	膿胞性乾癬(汎発性)	3
4000	高安動脈炎(大動脈炎症候群)	9
4100	巨細胞性動脈炎	3
4200	結節性多発動脈炎	3
4300	顕微鏡的多発血管炎	4
4400	多発血管炎性肉芽腫症(ウェゲナー肉芽腫症)	4
4500	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9
4800	原発性抗リン脂質抗体症候群	1
4900	全身性エリテマトーデス	50
5000	皮膚筋炎/多発性筋炎	21
5100	全身性強皮症	21
5200	混合性結合組織病	7
5300	シェーグレン症候群	10
5400	成人スチル病	6
5600	ベーチェット病	14
5700	特発性拡張型心筋症	16
5800	肥大型心筋症	2
5900	拘束型心筋症	1
6000	再生不良性貧血	5
6300	特発性血小板減少性紫斑病	12
6500	原発性免疫不全症候群	5
6600	IgA 腎症	12
6701	常染色体優性多発性嚢胞腎	10
6800	黄色靱帯骨化症	1
6900	後縦靱帯骨化症	31
7000	広範脊柱管狭窄症	6
7100	特発性大腿骨頭壊死症	11

臨床調査個人票番号	疾 病 名	人数
7201	中枢性尿崩症	2
7300	下垂体性 TSH 分泌亢進症	1
7400	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1
7500	クッシング病（下垂体性 ACTH 分泌亢進症）	2
7700	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5
7802	副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）分泌低下症	4
7804	GH 分泌不全性低身長症（小児）	1
7805	成人 GH 分泌不全症	6
7900	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1
8000	甲状腺ホルモン不応症	1
8103	21-水酸化酵素欠損症	1
8400	サルコイドーシス	4
8500	特発性間質性肺炎	40
8600	肺動脈性肺高血圧症	2
8800	慢性血栓栓性肺高血圧症	2
9000	網膜色素変性症	10
9200	特発性門脈圧亢進症	1
9300	原発性胆汁性胆管炎	23
9400	原発性硬化性胆管炎	1
9500	自己免疫性肝炎	7
9600	クローン病	51
9700	潰瘍性大腸炎	115
9802	小児－成人	2
10900	非典型溶血性尿毒症症候群	2
11300	筋ジストロフィー	2
11800	脊髄髄膜瘤	1
12200	脳表ヘモジデリン沈着症	1
15900	色素性乾皮症	1
16200	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	4
16300	特発性後天性全身性無汗症	1
17100	ウィルソン病	2
20700	総動脈幹遺残症	1
20900	完全大血管転位症	1
21000	単心室症	2
21400	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
22200	一次性ネフローゼ症候群	11
22600	間質性膀胱炎（ハンナ型）	2
25200	リジン尿性蛋白不耐症	1
27100	強直性脊椎炎	1
28800	自己免疫後天性凝固第Ⅹ因子欠乏症	1
29000	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
30100	黄斑ジストロフィー	1
30600	好酸球性副鼻腔炎	20
31600	カルニチン回路異常症	1
33100	特発性多中心性キャッスルマン病	3

（令和2年度から集計方法を変更したため、男女別、複数疾病認定者数は算出していません。

また、集計時点で当所管内に受給者がいない疾病は表から割愛しています。）

精神保健係

1 精神医療対策事業

地域における精神保健福祉業務の中心的行政機関として、措置入院、医療保護入院等、その他関係業務の事務事務を行っています。

(1) 措置入院及び医療保護入院

措置入院についての申請・通報等の受理から入院の決定までの事務及び医療保護入院届についての受付等の業務を行っています。

【措置入院及び医療保護入院患者数】

(令和5年度)

市町名	年度末措置入院患者数	年度新規措置入院患者数	医療保護入院届出数
糸島市	3	4	83(87)

入院届出数は管内精神病院の届出のうち糸島市在住者の数。()数は管外保健所受付分

(2) 精神科救急医療システム

土・日・祝日の休日は24時間体制で、平日の夜間は毎日午後5時から翌日午前9時まで精神疾患のため救急医療を必要とする者に対し、迅速かつ適切な医療及び保護を行うために精神科救急医療システムが稼働しています。令和5年4月から令和6年3月までのシステム対応者は3人で、緊急措置入院者は2人でした。また、このシステムの円滑な運営を図ることを目的として開催される福岡ブロック関係機関連携会議に出席し、連携の強化を図っています。

(3) 精神病院の实地指導

精神保健福祉法に基づき、精神病床を有する病院が適正な管理運営を行い、精神障がい者の人権に配慮した適正な精神医療を確保することを目的に、管内2カ所の病院に対し毎年実施しています。

(4) 措置入院及び医療保護入院者の現地診察

措置入院者及び医療保護入院者等について、当該病院において知事が指定する現地診察医の診察に立ち会い、入院患者の病状を把握するとともに、入院継続の要否等についての確認を行っています。

2 こころの健康づくり推進事業

(1) 精神保健福祉相談事業

毎週水曜日(第5週を除く)に、精神科専門医による一般の精神保健福祉相談に認知症・アルコール相談・思春期相談も含めた相談窓口を開設しています。

また、来所者への面接相談や電話による相談を常時行っています。

【相談(面接、電話)及び訪問状況】

(令和5年度)

市町村	定例外相談(面接・電話)及び訪問延べ件数	定例相談(実件数)
糸島市	1,146	11
その他	77	1
計	1,223	12

(2) 精神保健福祉研修(出前講座)

精神障がい者の社会復帰を促進し、心のバリアフリーをめざした当事者と共に暮らすまちづくりを進めるため、住民の希望する時間、場所に職員を派遣しています。

【出前講座実施状況】

実施日	内 容	主な対象者	参加延数
令和5年 6月19日	ゲートキーパーセミナー	糸島市精神障がい者 家族会	11人
令和5年 7月26日	こころの健康、大切にしていますか？	波多江コミュニティ センター講座利用者	13人
令和5年 8月24日	ゲートキーパーセミナー	国際医療福祉大学 看護学生	3人
令和5年 9月12日	あせらず・のんびり・ゆっくりと ～心の病 統合失調症～ ゲートキーパーセミナー	前原校区区長会	17人
令和5年 10月5日	ゲートキーパーセミナー	中村学園大学 栄養士学生	7人
令和5年 10月25日	こころの健康、大切にしていますか？	川原公民館 高齢者サロン	15人
令和5年 11月28日	こころの健康、大切にしていますか？ ゲートキーパーセミナー	玄海第一育生園 保護者会	17人

※「ゲートキーパーセミナー」は自殺対策事業として実施。

(3) 自殺対策事業

糸島市の自殺者数は、ゆるやかな減少傾向にあったものの、令和3年は増加に転じるなど予断を許さない状況にあります。このことから、長期的視点で住民の心の健康の向上及び自殺率の低下を図ることを目的として、出前講座や普及啓発事業等を行っています。

【出前講座は上記(2)表のとおり】

【その他(普及啓発)実施状況】

実施日	内 容	主な配布先	配架部数
令和5年 9月10日～16日	自殺予防週間における 関係機関へのチラシ等配布	糸島市、糸島農協、糸島市消防本部、 駅、コンビニエンスストア、中学校	計320部
令和6年3月	自殺対策強化月間における 関係機関へのチラシ等配布	糸島市、精神科病院、糸島農協、糸 島市消防本部、駅、コンビニエンス ストア、中学校	計400部

(4) アルコール依存症対策事業

アルコール依存症者を適切に治療に結びつけ、回復に向けた支援体制強化を図るため、アルコール関連問題を抱える家族や自助グループ相談担当者等を対象に、令和5年度は、アルコール依存症に関する知識や対応方法の普及啓発の講演会等を行いました。

【講演会等実施状況】

実施日	内 容	主な対象者	参加者数
令和5年 9月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話 「アルコール依存症について学ぼう」 ～CRAFTの技法を用いた依存症者への接し方～ 一本松すずかけ病院 古田和弘氏、鈴木由紀子氏 ・ 体験談 「アルコール依存症回復者からのメッセージ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルコール関 連問題に関心 のある市民 ・ 自助グループ ・ 相談担当者等 	35人

(5) 飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例関連事業

初回準違反者、適正飲酒指導を受けることを選択した2回目準違反者及び初回違反者を対象に、アルコール健康障害の予防・早期発見に資することを目的として、飲酒行動に関する指導を実施しました。
令和5年度 9件

3 精神障がい者社会復帰促進事業

(1) 精神障がい者社会復帰促進事業

医療、福祉、行政等の関係機関が連携して、精神障がい者やその家族に支援を行うことで、精神障がい者が地域で安心して生活できるようにすることを目的とし、平成22年度から実施しています。

ア 保健所に設置する協議会（精神保健福祉部会）

精神保健福祉部会において、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて協議を行いました。

【日時、内容、出席委員数】

回数	実施日	内容	委員
1	令和5年9月13日	・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム ・令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画	12人

イ 関係者会議

糸島市の自立支援協議会との連携を図りながら、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて、課題の抽出や解決策の整理、具体的な支援策等について協議を行います。令和5年度は4回開催しました。また、第2回以降は糸島市自立支援協議会精神専門部会と共催しました。

【日時、内容、出席人数】

回数	実施日	内容	出席人数
1	令和5年9月29日	・「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築について ・アンケート調査の実施について ・課題解決のための取り組みについての意見交換 (普及啓発、住まいの確保・居住支援、人材育成)	25名
2	令和5年11月29日	・アンケート調査結果について ・課題解消のための取り組み (日中の居場所確保、関係機関の連携強化、地域住民の理解促進)	16名
3	令和6年1月16日	・課題解消のための取り組み (人材確保、関係機関の(確保)、住まい・居住支援)	16名
4	令和6年3月7日	・課題解消のための取り組み ・今年度のまとめ及び次年度計画	16名

ウ 小中学校普及啓発事業

小中学生から精神障がい者に対する正しい理解を深めることを目的に、精神障がい者と交流できる関係機関の窓口や「こころの健康」等の出前講座のチラシを作成し、教育委員会等に対し働きかけを行っています。

令和5年度は保護者や学校教員への普及啓発を行う方針としました。糸島市学校教育課と連携し、糸島市二丈中学校の教職員18名に対して、専門医による講話「心の病の特徴と関わり方 発達障害の理解と対応」を実施しました。

(2) 定例ケース検討会

精神保健福祉に携わる管内実務担当者の相談対応の資質向上及びネットワークの強化を図るため、平成 27 年 11 月からケース検討会として位置づけ、専門医の助言を得ながら実施しています。令和 5 年度は 6 回実施しました。

(3) 精神障がい者家族会支援

糸島市精神障がい者家族会「いとしま会」に対して、毎月第 3 月曜日の定例会に必要な応じて参加し、研修会の案内や活動に対する助言・支援を行っています。リーフレットの作成について提案し、作成されたものを関係者会議の中で共有しました。

保健衛生課

1 食品衛生業務

食品衛生法、福岡県食品衛生法施行条例及び福岡県ふぐ取扱条例に基づき、飲食に起因する衛生上の危害の発生を未然に防止するため、食品営業関係施設や学校、病院等の集団給食施設の監視指導、食品及び食品添加物の収去検査業務等を行っています。

令和3年6月1日の食品衛生法の改正に伴い、「許可業種の見直し」及び「営業届制度の創設」がなされ、関係事業者等への周知を行っています。

また、「HACCPに沿った衛生管理」についても、令和3年6月1日から食品事業者に対し実施が義務付けられており、施設立入時等に導入状況の確認及び指導を行っています。

見直された営業許可施設等の集計は別表のとおりです。

営業者に対する食中毒予防講習会のほか食品衛生責任者養成講習会等各種講習会を実施し、食品衛生に関する知識の普及に努めています。

また、平成29年4月1日施行された福岡県食品の安全・安心の確保に関する条例に基づき、食品の安全・安心の確保に努めています。

一方、糸島食品衛生協会の育成指導を行い、特に協会の食品衛生指導員による施設の衛生指導等、自主衛生管理体制の確立を推進し、食品の安全確保の推進、啓発に努めています。

なお、消費者に対して食品の安全性等に関する正しい情報を伝えるため、講習会の開催やパンフレット等を積極的に利用する等啓発活動を実施しています。

(1) 許可を要する施設数

【食品衛生法に基づく営業許可業種】

(令和6年3月31日現在)

業 種	R4 年度	R5 年度
飲食店営業	1,203	1,189
菓子製造業	244	255
乳処理業	2	2
特別牛乳さく取処理業	0	0
乳製品製造業	4	4
集乳業	0	0
魚介類販売業	102	94
魚介類競り売り営業	0	0
魚肉練り製品製造業	3	3
食品の冷凍冷蔵業	8	7
缶詰びん詰食品製造業	0	0
喫茶店	36	23
あん類製造業	0	0
アイスクリーム類製造業	7	7
食肉処理業	12	12
食肉販売業	44	44
食肉製品製造業	8	8
乳酸菌飲料製造業	1	1
食用油脂製造業	1	1
マーガリン又はショートニング製造業	0	0
みそ製造業	3	3
醤油製造業	2	2
ソース類製造業	1	1

業 種	R4 度	R5 度
酒 類 製 造 業	4	6
豆 腐 製 造 業	6	7
納 豆 製 造 業	2	2
めん類製造業	13	13
そうざい製造業	133	155
添加物製造業	0	0
食品の放射線照射	0	0
清涼飲料水製造業	7	7
氷雪製造業	0	0
調理機能を有する自動販売機（要許可）	0	0
水産製品製造業	9	16
液卵製造業	0	1
みそ又はしょうゆ製造業	4	4
複合型そうざい製造業	0	0
冷凍食品製造業	6	7
複合型冷凍食品製造業	0	0
漬物製造業	15	25
密封包装食品製造業	8	12
食品の小分け業	3	3
合 計	1,891	1,914

(2)届出を要する食品関係営業施設

(令和6年3月31日現在)

業 種	R4 年度	R5 年度
旧許可業種	225	285
販売業	314	498
製造・加工業	102	242
上記以外のもの	43	70
合 計	684	1,095

(3)新規・更新許可件数

(令和5年度)

区 分	食 品 衛 生 関 係		合 計
	新 規	更 新	
件 数	374	—	374

※法改正以前の食品衛生法に基づく許可施設の更新については、改正食品衛生法に基づく新規許可となるため、新規件数に計上している。

(4)講習会・衛生教育実施状況

(令和5年度)

区 分	食中毒予防講習会	衛生教育	合 計
実施回数	1	7	8
参加人員	350	173	523

(5)食中毒発生状況

(令和5年度)

発生年月日	患者数	原 因		
		施設種類	食品名	病因物質
令和6年1月9日	12	飲食店	不明	ノロウイルス(GII.17)

(6) 食品苦情

(令和5年度)

区分	有症苦情	異物混入	異臭・腐敗・カビ	その他	合計
件数	10	5	2	10	27

(7) 食品の収去検査状況(検体数)

(令和5年度)

食品種類	上半期	下半期	合計	不適数
そうざい	10	0	10	0
弁当類	4	15	19	2
魚介類及びその加工品	10	4	14	0
肉、卵類及びその加工品	5	0	5	0
乳及び乳製品等	0	0	0	0
乳類加工品	0	0	0	0
アイスクリーム類、氷菓	0	0	0	0
めん類	0	8	8	2
野菜類及びその加工品	12	13	25	0
菓子類	9	5	14	0
清涼飲料水	0	0	0	0
酒精飲料	0	0	0	0
氷雪	0	0	0	0
水	0	0	0	0
容器包装詰め加圧加熱殺菌食品	0	0	0	0
かん、びん詰め食品	0	0	0	0
冷凍食品	0	0	0	0
その他の食品	0	0	0	0
洗浄剤	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	50	45	95	4

不適数：成分規格不適合及び福岡県食品衛生成分規格指導基準不適合の合計

2 獣疫業務

狂犬病予防法に基づき、狂犬病予防集団注射の実施並びに野犬の捕獲等を行っています。

また、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき動物取扱業の登録並びに監視指導、飼えなくなった犬や猫の引取り及び負傷動物の収容業務を行っています。その他、犬猫の適正な飼い方や動物愛護に関する啓発指導を行っています。

令和5年度は、動物愛護推進事業として獣医師会所属動物病院、糸島市役所及び保健所窓口で啓発資材(フン持ち帰り袋)の配布及び動物愛護に関する市民向けセミナーを開催しました。

さらに、関係機関(糸島市、獣医師会糸島分会)とともに、犬や猫を譲りたい人と譲って欲しい人をつなぐ「わんにゃーねっと」という情報ネットワークを構築し、殺処分数の減少や過剰繁殖の防止に努めています。

(1) 畜犬登録関係

(令和5年度)

市町	年度	鑑札交付枚数	転入頭数	転出頭数	死亡頭数	抹消頭数	登録頭数
糸島市	4	522	200	156	720	—	5,862
	5	470	188	131	360	8	6,021

(2) 狂犬病予防注射関係

(令和5年度)

市町	年度	集団	個人	保健所	済票交付枚数
糸島市	4	177	4,427	0	4,604
	5	203	4,377	0	4,580

(3) 苦情内容

(令和5年度)

項目	捕獲依頼	咬傷事故	放し飼い	迷い込み	負傷動物	悪臭鳴声	行方不明	遺棄	フンの放置	その他	合計
件数	12	8	8	7	2	4	51	0	0	32	124
比率	0.10	0.06	0.06	0.06	0.02	0.03	0.41	0	0	0.26	

(4) 狂犬病予防及び動物愛護管理業務

(令和5年度)

市町	年度	捕獲犬	返還犬	引取犬	引取猫	負傷動物	犬による事故 (咬傷)	その他動物 による事故
糸島市	4	6	5	18	38	6	4	0
	5	12	11	24	8	12	8	0

(5) 動物取扱業登録施設数

(令和5年度末現在)

業種	販売	保管	貸出し	訓練	展示	競りあわせ業	譲受飼養業	譲渡
第1種	35	40	1	4	8	0	2	
第2種		0	1	1	0			5

3 環境衛生関係営業六法等に係る業務

旅館、クリーニング業等の営業に係る施設、火葬場、特定建築物及び遊泳用プールの許可及び届出の受理をし、計画的に施設の監視指導業務を行っています。

【環境衛生関係施設数】

(令和6年3月31日現在)

業態別		R4年度	R5年度
興行場		1	1
旅館	旅館・ホテル	23	25
	簡易宿所	28	30
公衆浴場	普通	0	0
	特殊	15	15
理容所		78	77
美容所		169	176
クリーニング所(洗濯、仕上げ)		4	4
クリーニング所(取次)		79	78
墓地等	墓地	122	121
	納骨堂	140	140
	火葬場	1	1
特定建築物		14	14
遊泳用プール		3	3
合計		677	685

4 結核対策

結核は、かつて我が国で「国民病」と言われ、不治の病として恐れられていましたが、医学の進歩や生活水準の改善等により現在では適切な治療を行うことで治癒する病気になりました。

これまでの着実な取組みにより国内における新登録患者数は年々減少しており、日本の 2022 年結核罹患率は人口 10 万対 8.2 であり、結核低まん延国の水準である 10.0 以下を維持しています。既に結核低まん延国であった米国等他の先進国の水準に年々近づき、近隣アジア諸国に比べても低い水準にあります。

また、結核患者の高齢化、薬剤耐性結核菌の出現、若年層における外国出生者の割合の増加等問題が複雑化しており、引き続き結核対策に取組んでいかなければならない状況にあります。

当所では、接触者健診・管理検診、患者訪問指導、医療機関の職員を対象とした研修会等を積極的に行い、結核の根絶に向けた総合的な対策に取り組んでいます。

(1) 年次別結核患者登録者数

区分	年	新登録患者数	罹患率 (人口 10 万人対)
全国	H31 (R 元) 年	14,460	11.5
	R2 年	12,739	10.1
	R3 年	11,519	9.2
	R4 年	10,235	8.2
福岡県	H31 (R 元) 年	616	12.0
	R2 年	512	10.0
	R3 年	535	10.4
	R4 年	437	8.5
管内	H31 (R 元) 年	9	8.8
	R2 年	7	7.1
	R3 年	15	15.0
	R4 年	3	3.01

出典：結核登録情報調査年報集計結果、結核管理図

注) 新登録患者数：1 年間に新たに結核と診断され、医師から保健所に届けられた者のうち潜在性結核感染症を除いた患者数

注) 全結核罹患率：年間新登録結核患者数 ÷ 総人口 × 10 万

注) 潜在性結核感染症：明らかな臨床的症状を示しておらず結核を発病していないが、結核に感染している者

(2) 結核医療公費負担申請について

結核患者の入院医療費（感染症法第 37 条）及び通院医療費（感染症法第 37 条の 2）について、感染症診査会結核専門部会へ諮問し、治療内容の適正化や経済的負担の軽減等を図っています。

【結核医療公費負担申請・承認件数】

(令和 5 年度)

種 別	入院医療費 (感染症法第 37 条)	通院医療費 (感染症法第 37 条の 2)
諮 問 件 数	0	18
結 果	承 認	0
	不承認	0
	保 留	0
	計	0

(3) 結核接触者健診・管理検診の実施状況

接触者健診（感染症法第 17 条）は、結核患者と接触された方の中から潜在性結核感染者や新たな結核患者を早期に発見することを目的としています。また、管理検診（感染症法第 53 条の 13）は、結核の治療が終了した方を対象として、治療終了後 2～3 年間、半年ごとに胸部 X 線検査を行い、結核の再発の有無を確認しています。

区 分		接触者健診			管理検診		
		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
対象者延べ数		66	34	45	29	42	26
受診 機関	保健所	18	13	31	5	11	8
	その他	48	21	12	22	24	18
	計	66	34	43	27	35	26
受 診 率		100%	100%	95.6%	93.0%	83.3%	100%

(4) 結核患者訪問事業

結核患者の発生届を受理した場合は、すみやかに患者を訪問し、発病状況等の情報収集と接触者健診の案内や、治療継続の指導を行っています。

【訪問指導件数】 (令和 5 年度)

区 分	実人数	延人数
患者・家族等	10	47

(5) 結核対策事業

ア 結核対策特別促進事業

- ・結核患者服薬支援事業（DOTS）

結核は、長期間の服薬治療が必要となります。このため、DOTS カンファレンスを開催し、療養支援の方法について協議を行うとともに、訪問・電話・SNS 等により、患者一人ひとりの生活にあわせた服薬支援を行っています。

イ 学校における結核対策

- ・糸島市結核対策連絡会

連絡会は小中学校における結核検診の実施状況等を把握し、精密検査対象者の児童・生徒の検査や経過観察を関係機関と協力し、専門的な検討を行っています。糸島保健所長は連絡会の委員を務め、結核要検討者に対する意見・情報等の技術支援を行っています。

ウ 結核健康診断実施報告

- ・定期の健康診断

感染症法第 53 条の 2 では、結核に感染する危険性が高い職種及び結核に感染する危険性は高くはないものの発症すれば二次感染を引き起こす危険性が高い職種に対して、結核の早期発見のために定期の健康診断を義務付けています。

- ・通報又は報告

感染症法第 53 条の 7 では、健康診断実施者（事業者、学校長、施設長、市長）が県知事に対し健康診断の受診者数等を報告する義務があります。

5 感染症対策

(1) 感染症予防対策事業

ア 感染症発生時対応（結核を除く）

発生届及び施設等からの相談に応じ、疫学調査及び指導を行い、感染拡大防止を図っています。

(令和5年度)

	類 型	疾 病 名
届出件数	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症(2件)
	4類感染症	日本紅斑熱(1件) デング熱(1件)
	5類感染症	梅毒(11件)
	指定感染症	新型コロナウイルス感染症(91件)

イ 施設等からのクラスター報告対応

医療機関・高齢者施設・保育園等からのクラスター報告に応じ、現地調査及び助言を行い、感染拡大防止を図っています。(令和5年度)

	疾 患 名	施 設 名
報告件数	新型コロナウイルス感染症	医療機関(10件)・高齢者施設等(18件)
	インフルエンザ	保育園等(5件)
	感染性胃腸炎	高齢者施設等(1件)・保育園等(4件)
	疥癬・不明熱等	高齢者施設等(2件)

ウ 感染症予防啓発

社会福祉施設等に対して、届け出や相談の多い感染症の予防対策についての研修会を行っています。

実施日	内 容	対 象
令和5年9月6日 14:00～16:00	情報提供 「新型コロナ 第1波～8波までの振り返り」 講話 「在宅医療、介護場面の感染対策 ～新型コロナ 感染症の対応について～」 講師:独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 感染管理認定看護師 小形 和輝 氏	高齢者施設等に従事 する職員 (52名)
令和5年10月17日 13:30～15:00	出前講座 「インフルエンザについて」	二丈母子寡婦の会員 (11名)
令和5年11月22日 19:00～21:00	講話 「SARS-COVID 拠点病院東京出張、結核の臨床」 講師:独立行政法人国立病院機構 福岡病院 呼吸器内科 医長 田口 和仁 氏 ※結核研修と同時開催	医療機関・高齢者施設 等に従事する職員 (36名)

(2) 感染症発生動向調査事業

感染症の発生状況を把握するため、感染症発生届を受理した場合、感染症発生動向調査システムに届出内容の入力を行い、福岡県保健環境研究所において収集・分析を行っています。

(3) 予防接種事業

国や県からの最新情報を糸島市へ情報提供し、定期予防接種の適正実施や予防接種による副反応の報告等を行っています。

(4) インフルエンザ様疾患発生報告事業

インフルエンザの発生状況の把握と住民への注意喚起のため、学校からインフルエンザ様疾患による休校、学年閉鎖等の情報を収集し県に報告し、県がとりまとめて公表を行っています。

(5) 新型インフルエンザ等対策

「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、令和5年度末に「健康危機対処計画（感染症編）」の策定を行いました。今後は本計画に基づき、管内関係機関との連携強化、人材育成、危機管理体制の強化を進め、新たな新興感染症発生に備えます。

令和5年度は、人材育成を目的に新型インフルエンザ想定訓練（PPE着脱・クラスター対応・エアレント設置・患者搬送）を行いました。

また、改正感染症法に基づく「医療措置協定」の締結に向け、管内医療機関との協議を進めています。

(6) 特定感染症対策事業(エイズ・性感染症対策)

ア 特定感染症検査

エイズ、性感染症の相談対応、早期発見、早期治療に繋げることを目的に、週一回無料検査を実施しています。

○検査日：毎週火曜日 10:00～11:00 糸島総合庁舎 1階診察室（祝日は除く、要予約）

○検査項目：HIV、梅毒、クラミジア、淋菌

【特定感染症相談状況】

区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
相談件数	10	31	14	40	42
HIV検査件数	76	0	0	14	45
梅毒検査件数	73	0	0	14	46
クラミジア検査件数	59	0	0	13	41
淋病検査件数	59	0	0	13	41

※ 新型コロナウイルス感染症対応のため、令和2年度、3年度は検査窓口を休止。
令和4年度は11月1日～12月7日実施。令和5年度は通常実施。

イ HIV検査普及週間及び世界エイズデーにおける普及啓発・検査（定例外）

HIV検査普及週間(6月1日～7日)、世界エイズデー(12月1日)に併せて、ポスター・チラシ等を一般住民や事業所等へ配布し、相談窓口・検査の利用を促す周知を行っています。

また、世界エイズデーに伴い、定例外にエイズ・梅毒相談、検査も実施しています。

社会福祉課

1 児童福祉

(1) 児童福祉週間啓発活動

毎年、5月5日の「子どもの日」を中心とした児童福祉週間（5月5日から5月11日）において、児童福祉の理念の一層の周知と児童を取り巻く諸問題に対する社会的関心の喚起を図るため啓発活動を行っています。

なお、令和5年度については、令和5年5月10日（水）10：00～JA 糸島産直市場 伊都菜彩において、ティッシュペーパーの配布による啓発活動を行いました。

(2) 保育所の状況

児童の健全な育成を図るため、保育所については、施設の充実、保育内容の向上、入所児童の適正な保育が行われるよう審査を行っています。

【保育所の設置及び入所状況】

（令和6年3月31日現在）

区分 市町名	施設数		合計	定数（入所児童数）
	公立	私立		
糸島市	0	24	24	2,706人（2,771人）

※認定こども園（幼保連携型、保育所型）及び小規模保育所を含む。

(3) 届出（認可外）保育施設の状況

平成13年11月30日に児童福祉法の一部を改正する法律が公布、平成14年10月から施行され、これにより、認可外の保育施設事業者に届出等が義務付けられました。

名称については、平成21年4月1日から福岡県と久留米市管轄地域では、従来の認可外保育施設から届出保育施設へと変更されました。

管内には、令和6年3月31日現在、17施設（うち居宅訪問型1施設）があります。

2 高齢者福祉

令和5年10月1日現在の住民基本台帳に基づく65歳以上の高齢者は、県全体で1,427,070人に達し、県人口の約28.0%を占めています。

管内における同日現在の高齢者の割合は30.1%で、令和4年10月1日現在の29.9%と比べ高齢化が進行しています。このため高齢者の福祉の増進に向け、糸島市と連携し、関係事業所に対し必要な助言等を行っています。

また、軽費老人ホーム事業費補助金の交付申請等の審査・進達、老人の日・老人週間（毎年9月15日から9月21日）関係業務、福岡県ねんりんスポーツ・文化祭の市町村大会における管内情報の取りまとめ等を行っています。

なお、当所管内における主な老人福祉施設の設置状況は次頁の表のとおりです。

3 介護保険

本庁からの権限移譲で平成18年度から居宅サービス事業者等の指定業務を実施しています。

また、平成18年4月の介護保険法改正で、指定基準等の遵守状況を定期的にチェックする仕組みとして、事業者指定に6年の有効期限が設けられました。

平成28年4月1日から県が所管する利用定員18人以下の指定通所介護事業所、平成30年4月1日から県が所管する居宅介護支援事業所が、糸島市の所管に移行しました。

【老人福祉施設の設置状況】

(令和6年3月31日現在)

種別	施設名	定員	所在地	設置主体
特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	富の里	50	糸島市富	社会福祉法人
	マイネスハウス	50	糸島市高上	社会福祉法人
	仙寿苑	50	糸島市二丈深江	社会福祉法人
	志摩園	130	糸島市志摩久家	社会福祉法人
老人保健施設 (介護老人保健施設)	ふる里	100	糸島市二丈深江	医療法人
	志摩老健センター・パキス	50	糸島市志摩小富士	医療法人
	まえばる老健センター	100	糸島市志登	医療法人
	ケアプラザ伊都	100	糸島市波多江立屋敷	医療法人
	おおた	18	糸島市浦志	医療法人
	ふくせい	18	糸島市高田	医療法人
養護老人ホーム	篠原の里	50	糸島市篠原西	社会福祉法人
軽費老人ホーム	師吉荘	80	糸島市志摩師吉	社会福祉法人
	ケアハウス瑞梅苑	50	糸島市池田	社会福祉法人

【介護保険居宅サービス】

(令和6年3月31日現在)

訪問介護	26	短期入所生活介護	8	介護老人保健施設	6
訪問看護	10	特定施設入居者生活介護	1	介護療養型医療施設	1
通所介護	22	福祉用具貸与	5	介護医療院	2
通所リハビリテーション	8	特定福祉用具販売	3		
訪問リハビリテーション	1	介護老人福祉施設	4		
合 計 97 か所					

4 女性・ひとり親家庭への支援

家族間の問題、離婚、養育問題、借金など様々な問題を抱える女性からの相談に応じ、自立のために必要な支援を行っています。

近年、家庭内の諸問題や取り巻く環境が複雑化し、多種多様な相談内容になっています。

ひとり親家庭については、世帯の経済的自立の助成とその児童の育成を図るため、母子父子寡婦福祉資金の貸付並びに生活相談に応じ、その自立に必要な指導を行うとともに福祉の増進に努めています。

【相談別件数】 ※件数は延べ相談件数

(令和5年度)

相談内容	生活一般	経済的支援 生活援助						小計	その他 たばこ販売	合計
		母子福祉資金		父子福祉資金		寡婦福祉資金				
		償還	貸付	償還	貸付	償還	貸付			
件数	153	141	41	2	0	0	0	184	3	340

【母子父子寡婦福祉資金新規貸付件数】

(令和5年度)

種 類	事業 開始 資金	事業 継続 資金	住 宅 資 金	就 職 支 度 資 金	技 能 習 得 資 金	生 活 資 金	転 宅 資 金	修 学 資 金	就 学 支 度 資 金	修 業 資 金	医 療 介 護 資 金	結 婚 資 金	合 計
件数	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3

5 障がい者福祉

(1) 「障害者総合支援法」指定障がい福祉サービス事業者等の指定等

障がい者の自己決定を尊重し、利用者本位のサービスの提供を基本とし、平成15年度から施行された支援費制度では、縦割りでのサービス提供等の問題点が指摘されました。このため、障がいの違いに関わらず利用できるサービスを充実した障害者自立支援法が、平成18年に施行されました。

この障害者自立支援法に基づく事業者等の指定等事務が、平成18年度本庁から当所へ移管されました。なお、障害者自立支援法は、平成25年4月1日から障害者総合支援法に改正されています。

【管内指定障がい福祉サービス事業所】

(令和6年3月31日現在)

居宅介護	12	短期入所	10	就労継続支援(A型)	6
重度訪問介護	9	重度障害者等包括支援	0	就労継続支援(B型)	13
同行援護	7	施設入所支援	4	就労定着支援	1
行動援護	2	自立訓練	3	自立生活援助	0
療養介護	0	就労移行支援	1	共同生活援助	11
生活介護	12	合 計			91 か所

(2) 腎臓疾患患者福祉給付金の支給事務

身体障害者手帳所持者で、就労等のために夜間に人工透析を1か月間に5回以上受けている腎臓疾患患者に対して、通院に伴う交通費の一部助成をしています。

【令和5年度腎臓疾患患者福祉給付金の支給状況】

	前期分 (4月1日～9月30日)	後期分 (10月1日～3月31日)
人 数	9	8
延べ支給月数	54	48

※月額：2,000円

(3) ふくおか・まごころ駐車場

「ふくおか・まごころ駐車場」とは、平成24年2月15日より、福岡県が、障がいのある方や高齢で介護が必要な方、妊産婦の方などが公共施設・店舗等の障がい者等用の駐車場を、安全かつ安心して利用できるように支援する制度です。

駐車場の管理者には、登録と「ふくおか・まごころ駐車場」の表示をしていただき、当事務所において対象者の方に「ふくおか・まごころ駐車場」の利用証を発行しています。

利用証のうち⑦緑色は、障がい者・高齢者等用 ⑧赤色は、車椅子運転者用 ⑨オレンジ色は、妊産婦、けが人用となっています。

【利用証の新規発行数について（当所管内）】

年度	身体障がい等	高齢者(介護)	妊婦、けが人等	当所計
R4	195	31	94	320
R5	230	27	122	379

6 社会福祉法人関係業務

社会福祉法人から提出された、設立・定款変更申請等を取りまとめ、本庁に進達しています。

また、社会福祉法人の申請に応じて、登録免許税及び不動産取得税の非課税措置を受けるために必要な証明書の交付を行っています。

IV 資料

1 人口等基本統計

(1) 国・県・市の年齢階層別人口

	総人口(人)			年齢(3区分)割合(%)								
				15歳未満			15歳以上65歳未満			65歳以上		
	H22年	H27年	R2年	H22年	H27年	R2年	H22年	H27年	R2年	H22年	H27年	R2年
全国	128,057,352	127,094,745	126,146,099	13.2	12.6	12.1	63.8	60.7	59.2	23.0	26.6	28.7
福岡県	5,071,968	5,101,556	5,135,214	13.6	13.4	13.3	64.1	60.7	58.6	22.3	25.9	28.1
糸島市	98,435	96,475	98,877	14.4	13.6	13.9	63.7	59.4	56.1	21.9	26.9	30.0

各年10月1日現在 出典:国勢調査

(2) 世帯の状況

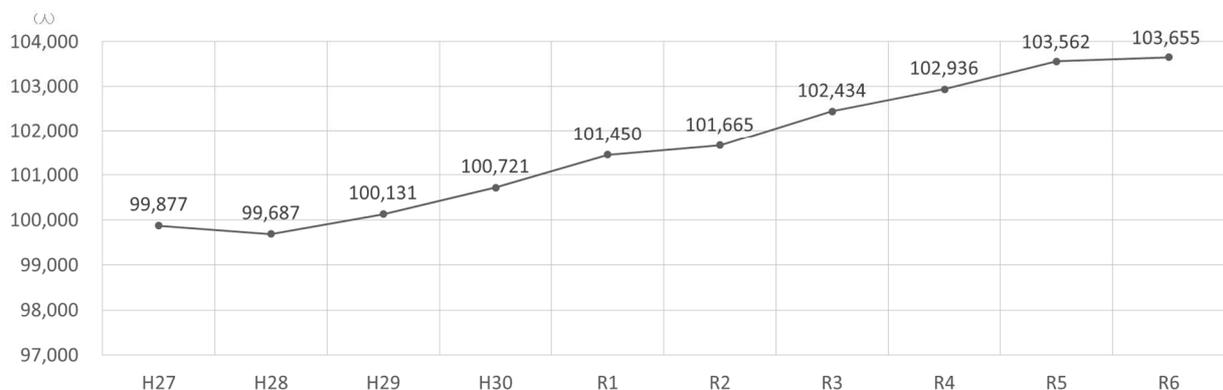
	一般世帯数		うち核家族世帯		うち単独世帯		うち65歳以上の単独者世帯	
	H27年	R2年	H27年	R2年	H27年	R2年	H27年	R2年
	全国	53,331,797	55,704,949	29,754,438	30,110,571	18,417,922	21,151,042	5,927,686
福岡県	2,196,617	2,318,479	1,197,150	1,213,986	820,806	942,993	260,056	284,223
糸島市	34,685	37,721	22,394	23,966	7,370	9,421	3,052	3,923

各年10月1日現在 出典:国勢調査

2 糸島市の総人口の年次推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総人口	99,877	99,687	100,131	100,721	101,450	101,665	102,434	102,936	103,562	103,655

各年3月末現在 出典:住民基本台帳人口

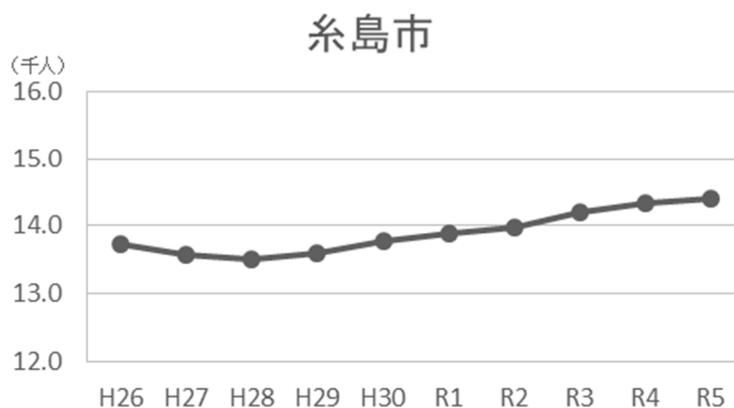
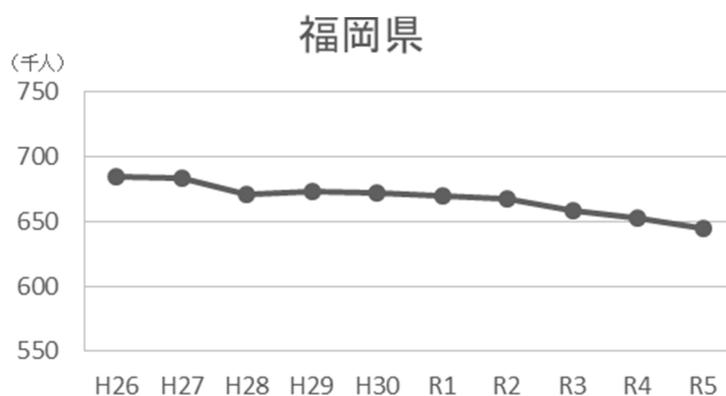
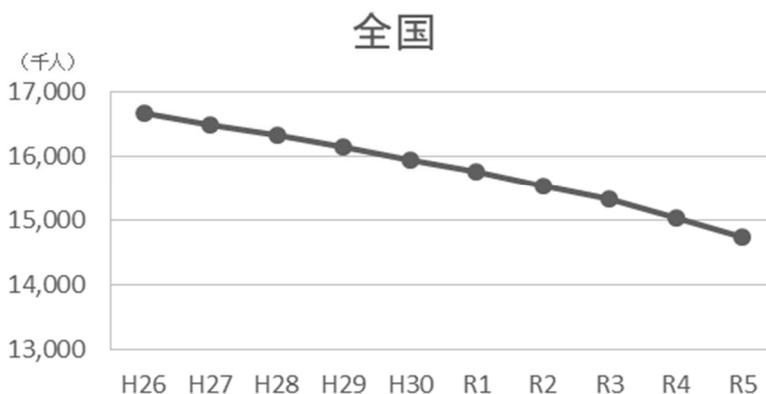


3 年齢3区分別人口の年次推移

(1)年少人口(15歳未満)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	16,666,492	16,492,143	16,321,807	16,142,185	15,950,238	15,758,424	15,528,262	15,319,131	15,035,727	14,731,822
福岡県	684,263	683,946	671,229	673,329	671,878	669,394	667,165	658,608	652,679	644,293
糸島市	13,725	13,567	13,498	13,601	13,772	13,892	13,969	14,196	14,329	14,388

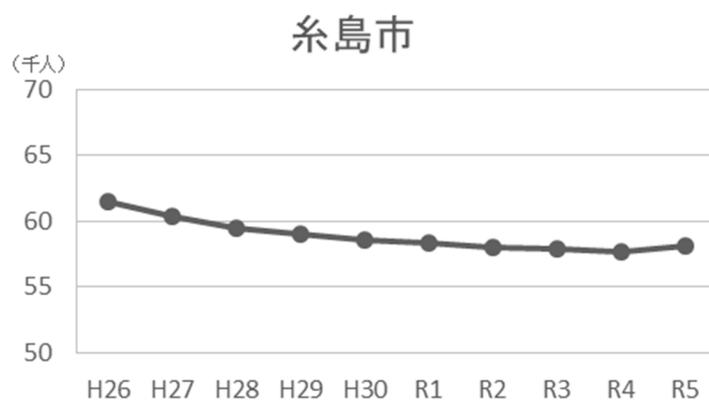
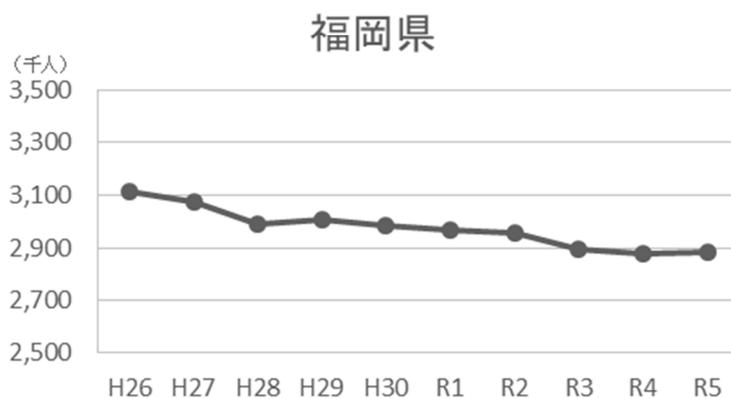
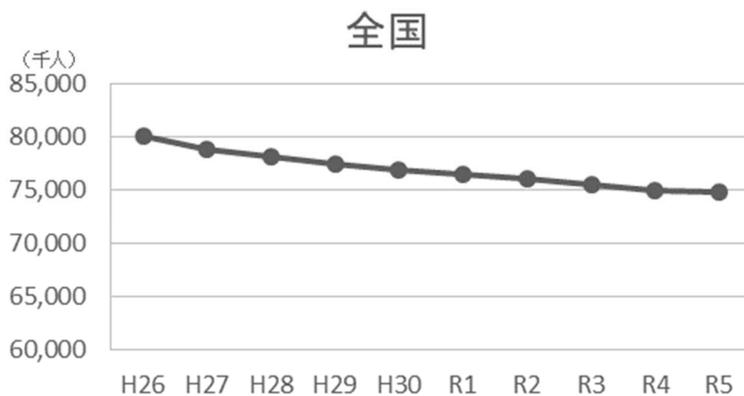
出典:【全国】各年1月1日現在 住民基本台帳人口 【福岡県】各年4月1日現在 人口移動調査 【糸島市】各年3月31日現在 住民基本台帳人口



(2)生産年齢人口(15歳以上65歳未満)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	80,051,168	78,909,420	78,122,617	77,491,846	76,963,206	76,499,828	76,122,894	75,566,552	74,962,731	74,796,061
福岡県	3,115,656	3,072,791	2,992,239	3,007,284	2,986,954	2,967,809	2,958,188	2,898,149	2,878,554	2,883,313
糸島市	61,439	60,394	59,441	58,983	58,537	58,393	57,994	57,918	57,725	58,091

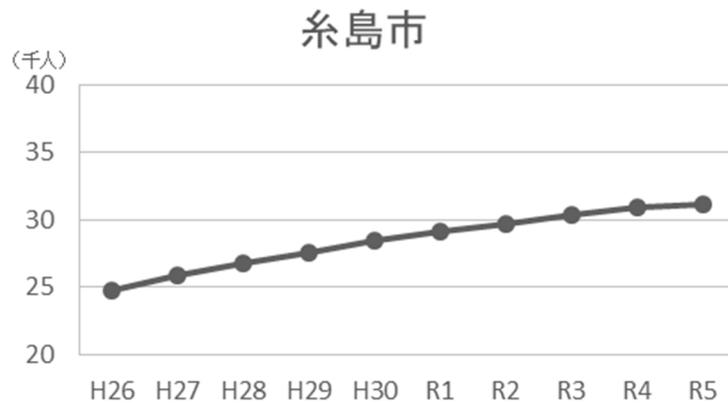
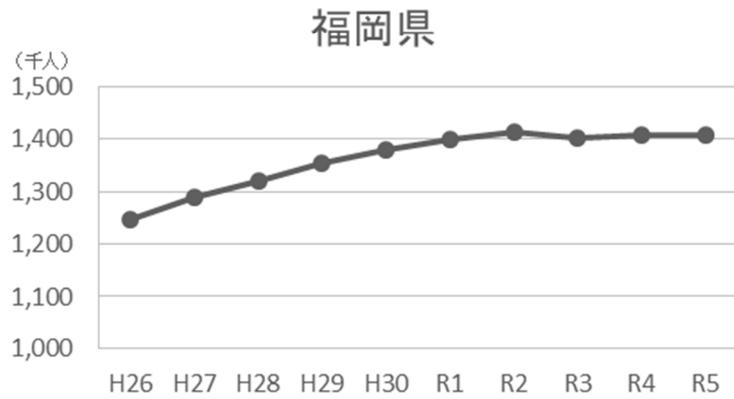
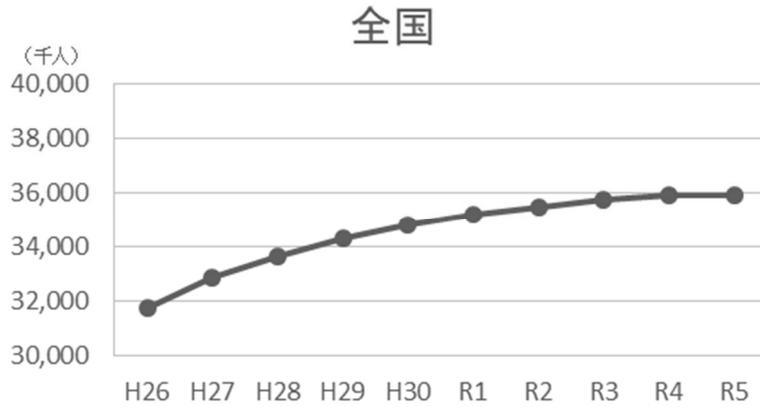
出典:【全国】各年1月1日現在 住民基本台帳人口 【福岡県】各年4月1日現在 人口移動調査 【糸島市】各年3月31日現在 住民基本台帳人口



(3) 老年人口(65歳以上)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	31,720,283	32,824,841	33,621,722	34,272,983	34,793,745	35,185,241	35,486,813	35,768,503	35,929,389	35,888,947
福岡県	1,245,938	1,290,263	1,320,594	1,355,004	1,378,443	1,399,887	1,414,652	1,401,223	1,408,158	1,407,642
糸島市	24,721	25,916	26,748	27,547	28,412	29,165	29,702	30,320	30,882	31,083

出典:【全国】各年1月1日現在 住民基本台帳人口 【福岡県】各年4月1日現在 人口移動調査 【糸島市】各年3月31日現在 住民基本台帳人口

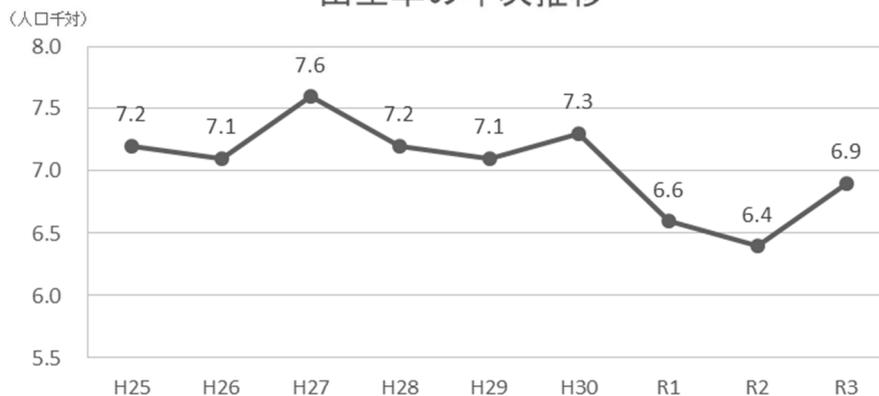


4 糸島市の人口動態の年次推移

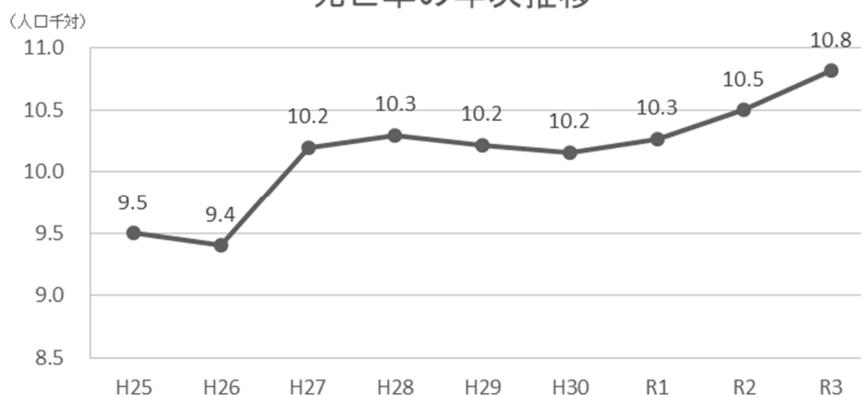
	出生数 (人)	出生率 (人口千対)	死亡数 (人)	死亡率 (人口千対)	死産数 (人)	死産率 (出産千対)	婚姻件数	婚姻率 (人口千対)	離婚件数	離婚率 (人口千対)
H25	704	7.2	918	9.5	15	20.9	401	4.1	165	1.7
H26	688	7.1	907	9.4	30	41.8	396	4.1	169	1.8
H27	732	7.6	973	10.2	25	33.0	402	4.2	195	2.0
H28	695	7.2	993	10.3	19	26.6	349	3.6	192	2.0
H29	683	7.1	984	10.2	22	31.2	393	4.1	176	1.8
H30	710	7.3	985	10.2	16	22.0	301	3.1	177	1.8
R1	638	6.6	997	10.3	7	10.9	342	3.5	177	1.8
R2	630	6.4	1026	10.5	12	18.7	297	3.0	158	1.6
R3	683	6.9	1066	10.8	17	24.3	300	3.0	149	1.5

出典：保健統計年報（福岡県保健医療介護部）

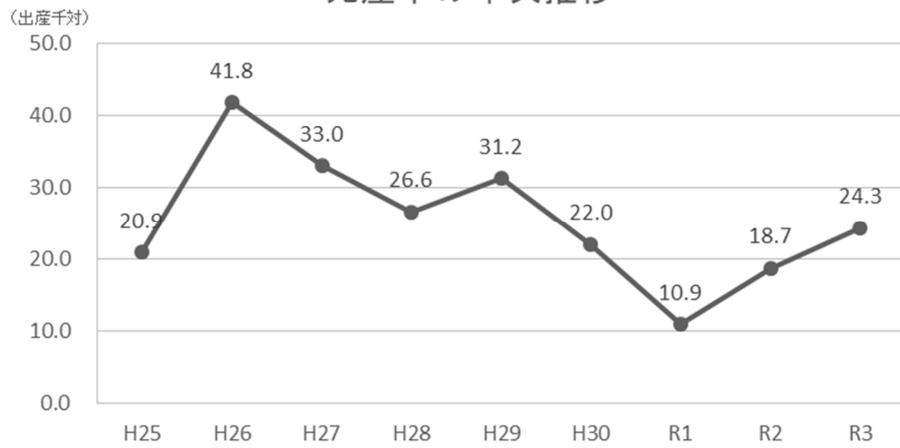
出生率の年次推移



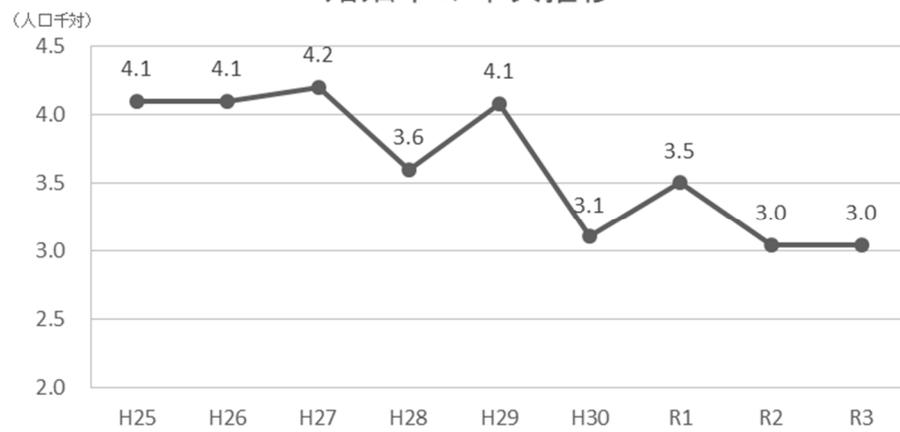
死亡率の年次推移



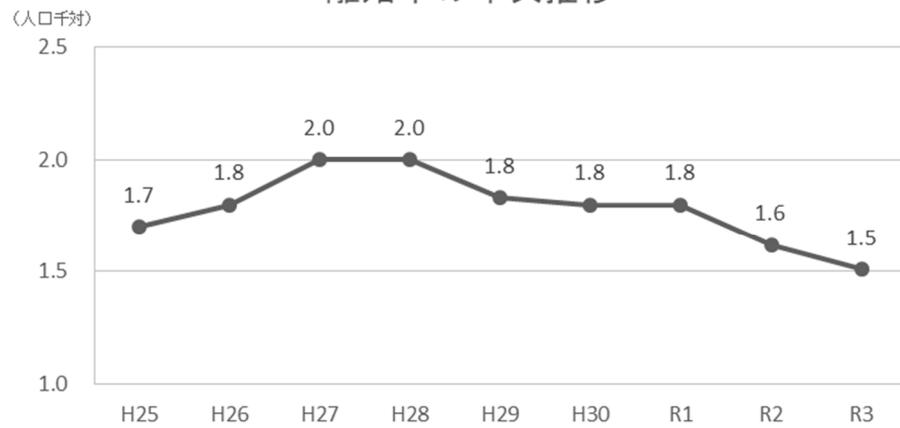
死産率の年次推移



婚姻率の年次推移

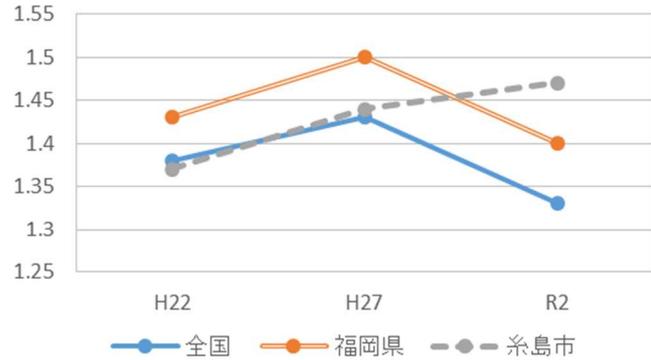


離婚率の年次推移



5 合計特殊出生率の年次推移

年	全国	福岡県	糸島市
H22	1.38	1.43	1.37
H27	1.43	1.50	1.44
R2	1.33	1.40	1.47

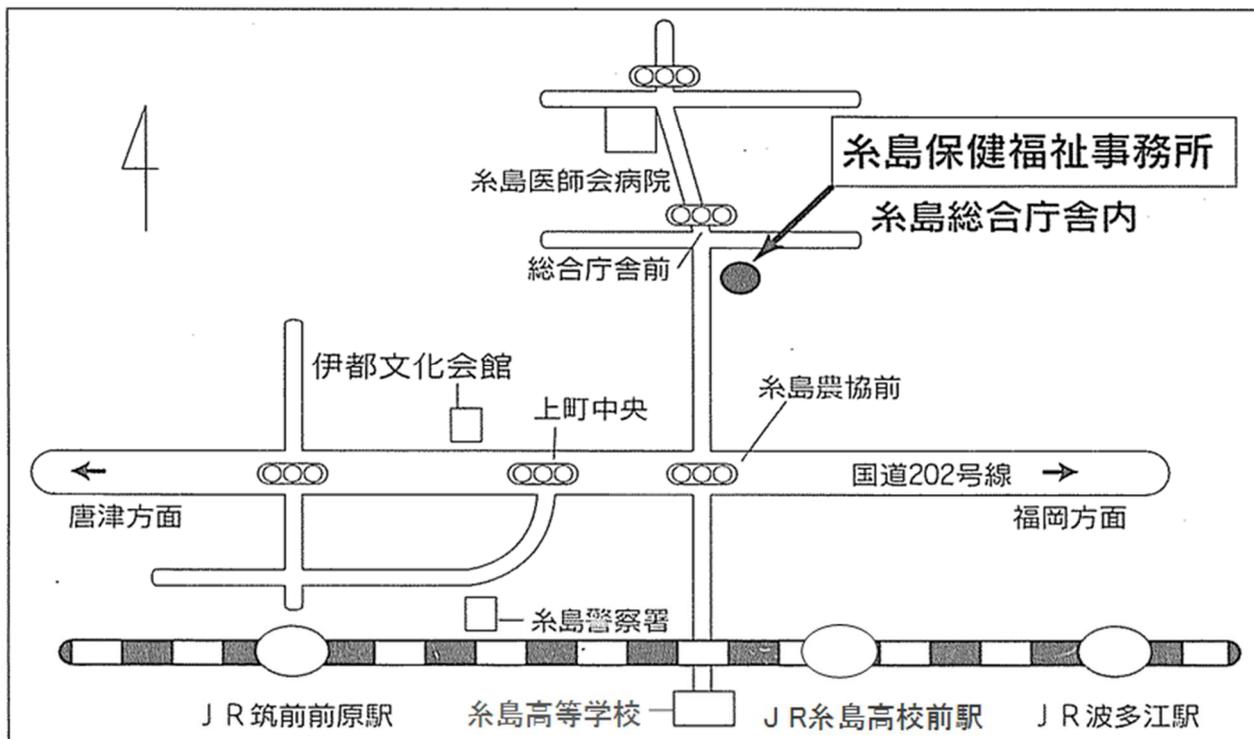


出典:人口動態調査

6 主要死因別死亡数・死亡率(人口対10万人)

		令和3年		
		全国	福岡県	管内
日本人人口(10.1現在)		122,780,000	5,045,000	98,565
全死因	総数	1,439,856	56,410	1,066
	率	1,172.7	1,118.1	1,081.5
結核	総数	1,845	93	3
	率	1.5	1.8	3.0
悪性新生物	総数	381,505	15,860	303
	率	310.7	314.4	307.4
心疾患 (高血圧性を除く)	総数	214,710	6,928	139
	率	174.9	137.3	141.0
脳血管疾患	総数	104,595	3,696	74
	率	85.2	73.3	75.1
肺炎	総数	73,194	3,055	58
	率	59.6	60.6	58.8
肝疾患	総数	18,017	690	12
	率	14.7	13.7	12.2
不慮の事故	総数	38,355	1,653	25
	率	31.2	32.8	25.4
自殺	総数	20,291	847	17
	率	16.5	16.8	17.2

出典:保健統計年報(福岡県保健医療介護部)



住所・電話

名称 福岡県糸島保健福祉事務所

住所 〒819-1112 福岡県糸島市浦志2丁目3番1号

電話 総務企画課

総務係 092-322-3269

企画指導係 092-322-5186

健康増進課

健康増進係 092-322-1439

精神保健係 092-322-3326

保健衛生課

食品生活衛生 092-322-3268

感染症 092-322-5579

社会福祉課 092-322-1449

難病ホットライン 092-321-0083

FAX 092-322-9252

ホームページ

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

※アクセス 福岡県のホームページ → 県の出先機関 → 糸島保健福祉事務所

福岡県行政資料	
分類記号 GA	所属コード 4403127
登録年度 06	登録番号 0001